ちゅうしん

2026年版
ディスクロージャー誌

2026 中日信用金庫の現況

想いをつなぐ 共につくる未来

～Connect the Mind　Create the Future～

CHUNICHI SHINKIN BANK

ちゅうしんのシンボルマーク

・出発（スタート）の「出」
・青空の下で躍動する「人間」
・中日信用金庫の「中日」
・地域社会と手をつなぐ中日信用金庫

という4つの意味をデザイン化したもので、
昭和48年（1973年）に制定いたしました。

目次

ごあいさつ……2
ちゅうしんと地域社会……3
パーパス・基本方針・経営方針……5
業績の概要……7
不良債権の状況……9
自己資本の充実の状況……10
リスク管理・法令等遵守態勢……12
地域金融円滑化への取組み……16
業務活動の展開……17
SDGsへの取組み……18
金庫の概要……21
営業のご案内……25
店舗ネットワーク……30

※財務諸表・自己資本の充実の状況等については、「別冊資料編」に掲載しています。
「別冊資料編」につきましては、当金庫本支店窓口または当金庫ホームページにてご覧いただけます。





金庫の概要（2026年3月末現在）

名　　称	中日信用金庫（チュウニチシンヨウキンコ）CHUNICHI SHINKIN BANK
創　　立	昭和27年（1952年）1月11日
所 在 地	名古屋市北区清水二丁目9番5号
預積金量	3,468億74百万円
役職員数	237人
店 舗 数	21店舗
会 員 数	14,256人



理事長

冨田　勝

ごあいさつ

平素は、中日信用金庫をご愛顧いただき、厚く御礼申し上げます。

皆さまに、当金庫をより一層ご理解いただきたく、2026年版ディスクロージャー誌「2026中日信用金庫の現況」を作成いたしましたので、ご高覧いただければ幸いに存じます。

2025年度の国内経済は、賃上げの進展等を背景に緩やかな回復基調で推移したものの、物価上昇により個人消費は力強さを欠く状況となりました。インバウンド需要は回復基調にあるものの、中国による日本への渡航自粛要請等により訪日客数に伸び悩みが見られました。また、中東情勢の緊迫化に伴う原油価格の上昇は企業収益の下押し要因となり、物流面の不確実性も高まりました。当地域においては、基幹産業である自動車関連産業を中心に持ち直しの動きが見られ、輸出や生産は緩やかな回復基調で推移しました。2026年9月に開催される愛知・名古屋アジア競技大会を通じたインバウンド需要や消費増加等が期待されており、また2034年度以降に開業見通しのリニア中央新幹線に向けたインフラ整備も進む一方で、中小企業や個人事業主を中心に、原材料価格や燃料費等の高止まりに加え、人手不足や人件費の上昇が収益の下押し要因となるなど、先行きは不透明な状況にあります。

このような中、2025年度の当金庫の業績につきましては、預金積金残高は対前期末比4,949百万円増の346,874百万円、貸出金残高は同2,712百万円増の182,920百万円と順調に推移し、損益面では経常利益は同14百万円減の363百万円、当期純利益は同17百万円減の271百万円と前年度と同水準を維持し、金融機関の本業による利益を表す業務純益は同45百万円減の361百万円となり、適正な利益水準を維持することができました。

2026年度についても、中東情勢の緊迫化に端を発した原油価格の上昇が国内経済全体へ深刻な影響を及ぼす懸念が増しており、また日本銀行による利上げのタイミングなど金利の先行きも不透明感が増しております。

このような状況下において、当金庫では近年、不祥事件が複数発生しており、再発防止を徹底し引続き業務改善計画を着実に実行することによって、会員の皆さま・地域の皆さまからの信頼回復を図ることが最優先課題であると認識しております。

これからも当金庫は、パーパス『想いをつなぐ　共につくる未来』の実現に向けて、協同組織金融機関として、「相互扶助の精神」を常に意識し、助け合い、協力し合って、お客さまの成長と地域の発展に貢献してまいる所存です。

今後とも、格段のご厚誼を賜りますようお願い申し上げます。

2026年7月

ちゅうしんと地域社会

ちゅうしんは、お客さま満足度の高い金融サービスのご提供とその品質向上を心がけ、地域社会に必要とされる信頼感のある信用金庫づくりに努めています。

地域経済活性化の取組みについて

ちゅうしんは、名古屋市、清須市、北名古屋市及びその近隣市町を事業地域として、地元の中小企業の方や住民の皆さまが会員となって、お互いに助け合い、発展していくことを共通の理念として運営している相互扶助型の地域金融機関です。

地元のお客さまからお預かりした大切なご預金を、地域内で資金を必要とするお客さまにご融資することにより、事業や生活の繁栄のお手伝いをするとともに、独自の商品・サービスの開発や各種相談会の開催など、質の高い金融サービスをご提供し、地域の皆さまの利便性向上に努めています。

また、サークル活動やメセナ活動に取組み、地域社会の文化的発展にも貢献していくよう努めています。



お客さまへのご融資

貸出金残高 1,829 億円

ちゅうしんは、お預かりした大切なご預金を小口・多数者利用の原則に立ち、お客さまの健全な発展と地域社会繁栄のため積極的にご融資しています。

また、ちゅうしんは、お客さまの幅広い資金ニーズにお応えできる商品の充実に努め、地域経済活性化及び生活福祉向上の役割を果たしてまいります。

貸出金の詳細はP.7をご覧ください　融資商品の詳細はP.26をご覧ください

お客さまの利便性向上

ちゅうしんは、新規の資金需要・金融円滑化のご支援や、お得な預金商品の提案など、お客さまへの積極的な還元に努めるとともに、ご高齢・お身体の不自由な方に安心してご利用いただけるよう、店舗設備の充実を図っています。また、接遇スキル向上のための職員教育やサービス介助士・認知症サポーターを営業店に配備し、お客さまの利便性向上に努めています。

取組みの詳細はP.18等をご覧ください

お客さまへのご支援

ちゅうしんは、地域の事業者及び個人の方への安定した資金供給は、協同組織金融機関である信用金庫の最も重要な社会的使命であるとの考えのもと、お客さまの課題を十分に把握したうえで、その解決に向けて真摯に取組んでまいります。

また、長年の信頼関係に基づく「顔の見える」関係を一層強化し、適切な金融サービスのご提供に努めるとともに、お取引先企業の事業内容や成長可能性等を適切に評価し、ライフステージに応じた適切なコンサルティング機能の発揮を通じて、経営改善や生産性向上・成長力強化等のお役に立つご支援に努めています。

取組みの詳細はP.17をご覧ください

地域への社会的・文化的貢献活動

ちゅうしんは、SDGs（持続可能な開発目標）の理念に賛同し、その達成に向け、金融サービスを通じて地域社会の持続的成長や環境保全等のお役に立つ業務活動を展開するとともに、サークル活動やメセナ活動を通じて、地域の社会的・文化的発展にも寄与するなど、積極的な地域貢献に努めています。

取組みの詳細はP.18等をご覧ください

お客

想いをつなぐ
～Connect the Mind



ちゅ
中日信

常勤役職
店舗数
（2026年



さま

ご融資以外の運用

有価証券運用残高 994 億円

預け金残高 615 億円

ちゅうしんは、お客さまのご預金を融資による運用のほかに、預け金や有価証券により運用しています。

運用のうち、預け金は主に信金中央金庫への定期性預け金としており、有価証券については、短期的な利益の追求は行わず、安全性・流動性を第一に地方債などの公共債のほか、格付の高い社債を中心とした健全な資金運用を行っています。

運用の詳細はP.8をご覧ください

お客さまからのご預金

預積金残高 3,468 億円

ちゅうしんは、堅実な資産づくりのお役に立つ商品の充実に努め、地域の皆さまから信頼される安定した金融機関としての役割を果たしてまいります。

また、ちゅうしんは、お客さまの思いや善意がご預金等を通じて、環境保全や地域社会の諸問題の解決に寄与する商品等の提供に努めています。

預金の詳細はP.7をご覧ください　預金商品の詳細はP.25をご覧ください

共につくる未来
Create the Future〜

今期の決算

2025年度も金庫を挙げて業務の効率化に努めるとともに、貸出金残高増加や預け金・有価証券による健全な運用等により利益確保に努めました。

加えて、資産内容の健全性を高めるため厳格な自己査定に基づく引当を実施したうえで、協同組織金融機関として適正な利益を確保しています。

経常利益 363 百万円

当期純利益 271 百万円

自己資本比率 10.90 %

利益の詳細はP.6及びP.8をご覧ください



用金庫

員数:237人
:21店舗
3月末現在）

会員の皆さまからの出資金

出資総額 373 百万円

会員数 14,256 人

ちゅうしんは、多くの会員の皆さまにご支援いただき、おかげをもちまして堅実で健全な経営をさせていただいています。

出資金の詳細はP.8をご覧ください

パーパス・基本方針・経営方針

中日信用金庫の“パーパス（存在意義）”

想いをつなぐ 共につくる未来

～Connect the Mind　Create the Future～

私たちがお預かりするのは、地域のみなさまの想いです

私たちは、夢や希望に向かって挑戦する人の想いを応援します

私たちは、想いを大切にして支え合いの輪をつくります

私たちは、共に働く一人ひとりの想いを大切にします

私たちは、仲間の想いを結集して変化や困難に挑みます

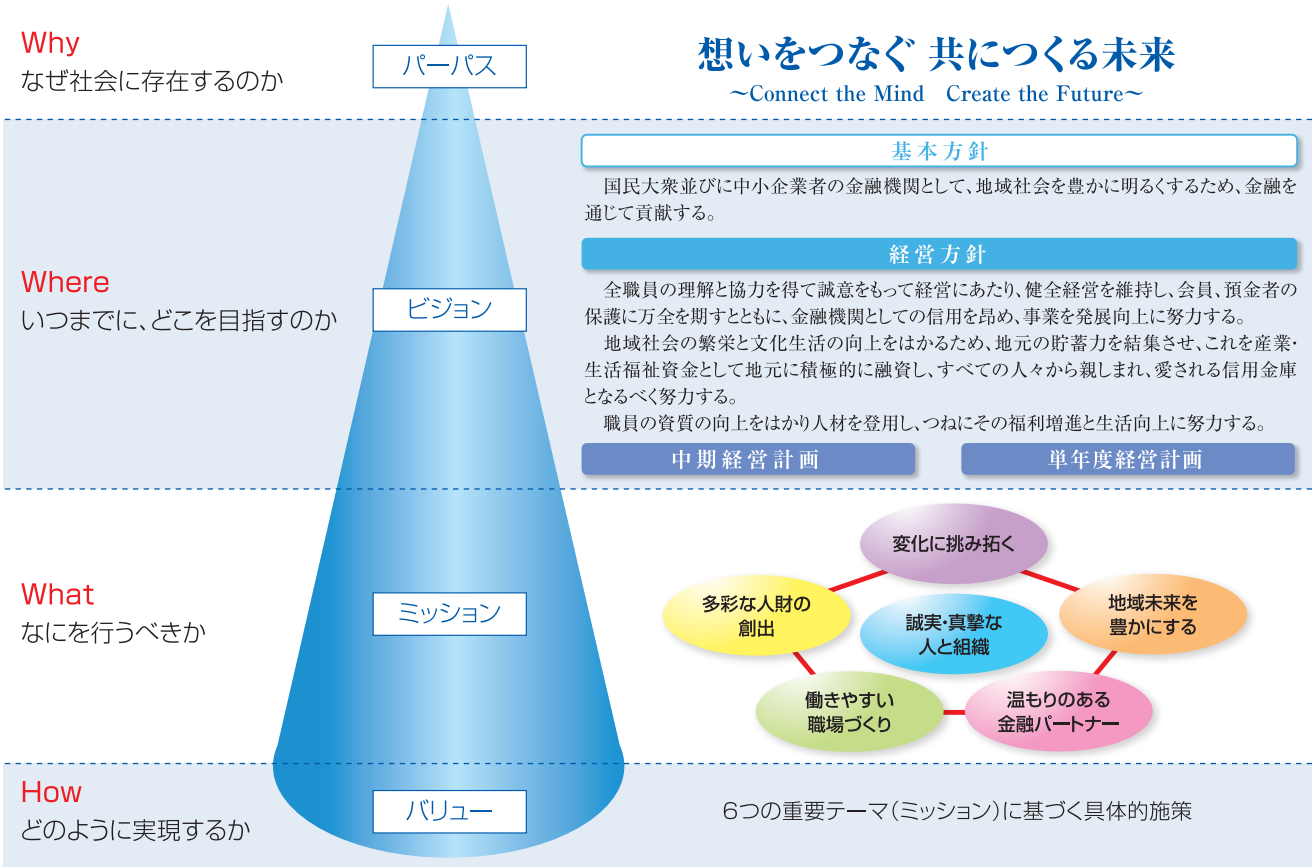
中日信用金庫は、その想いをつなぐ ちゅうしん として、未来を共につくります

パーパスとは、「何のために私たちは存在しているのか」という企業の存在価値を表わすものであり、当金庫が地域社会の中で、お客さまやステークホルダーに対して、どのような役割を果たしていくのかを示すとともに、職員にとっても、働くことの意味や目的の拠り所となるものです。

このパーパスには、地域の皆さま、夢や希望に向かって挑戦する人や企業、共に働く仲間の「想いをつなぐ ちゅうしん として、未来を共につくりたい。」――という想いを込めています。

○パーパスと経営理念・経営方針の関係

私たち、ちゅうしんを、地域の皆さまや社会に存在を認めてもらえるよう、“パーパス（存在意義）”を経営理念（ビジョン・ミッション・バリュー）の上位概念と位置づけています。



○パーパスの6つの重要テーマ

誠実・真摯な人と組織

私たちは、常に誠実・真摯（インテグリティ）に、高い志と信念を持って、考動しています。
「地域の皆さま、自分の家族にも誇れる人と組織でありたい」という、私たちの想いです。

働きやすい職場づくり

私たちは、共に働く仲間である職員一人ひとりの想いを大切にして、イキイキと働ける職場づくりに努めています。
働くことを通じて金庫と社会のつながり、自らの成長を実感できる「働きやすい職場をつくりたい」という、私たちの想いです。

多彩な人財の創出

私たちは、一人ひとりの個性を尊重して、その人が持つ才能の開花に努めています。
多様な能力を持つ「彩（いろどり）ある人財が育つ（創出）企業でありたい」という、私たちの想いです。

変化に挑み拓く

私たちは、仲間の想いを結集して時代・社会の変化や困難に臆することなく、果敢に挑んでいます。
その挑戦の先に「新たな未来を拓いていきたい」という、私たちの想いです。

地域未来を豊かにする

私たちは、豊かな地域未来のために、事業経営に励む経営者の皆さまや、夢や希望に向かって挑戦する人の想いに共感し、応援しています。
地域の皆さまと共に、「持続的に発展する豊かな社会をつくりたい」という、私たちの想いです。

温もりのある金融パートナー

私たちは、時代の変化によって、人とひとのつながり方が変わっても、「顔の見えるお取引」を大切にしています。
一人ひとりのお客さまの想いに寄り添い、支え合いの輪をつくり、「金融サービスを通じて温もりを感じて頂けるパートナーでありたい」という、私たちの想いです。

最近5年間の経営指標

（金額単位：百万円）

		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
利益	経常収益	4,786	4,625	4,221	4,359	4,793
	業務純益	1,212	312	236	407	361
	コア業務純益	1,150	1,132	834	896	1,031
	経常利益	641	377	333	377	363
	当期純利益	461	188	219	288	271
残高	預金積金残高	342,077	333,331	337,155	341,925	346,874
	貸出金残高	179,282	171,918	175,468	180,207	182,920
	有価証券残高	114,734	96,906	90,409	88,917	99,414
	純資産額	12,867	9,945	10,922	9,449	7,818
	総資産額	387,000	345,090	349,816	353,540	356,808
出資金	出資総額	376	374	378	376	373
	出資総口数	753,905口	749,688口	756,437口	753,312口	746,058口
	会員数	14,688人	14,573人	14,452人	14,368人	14,256人
	出資に対する配当金（出資1口当たり）	20円	20円	20円	20円	20円
単体自己資本比率		10.85％	10.80％	10.77％	11.21％	10.90％
職員数		239人	250人	239人	234人	237人

（注）「単体自己資本比率」は、信用金庫法第89条第1項において準用する銀行法第14条の2の規定に基づき、信用金庫がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当かどうかを判断するために金融庁長官が定める基準に係る算式に基づき算出しております。なお、当金庫は国内基準を採用しております。

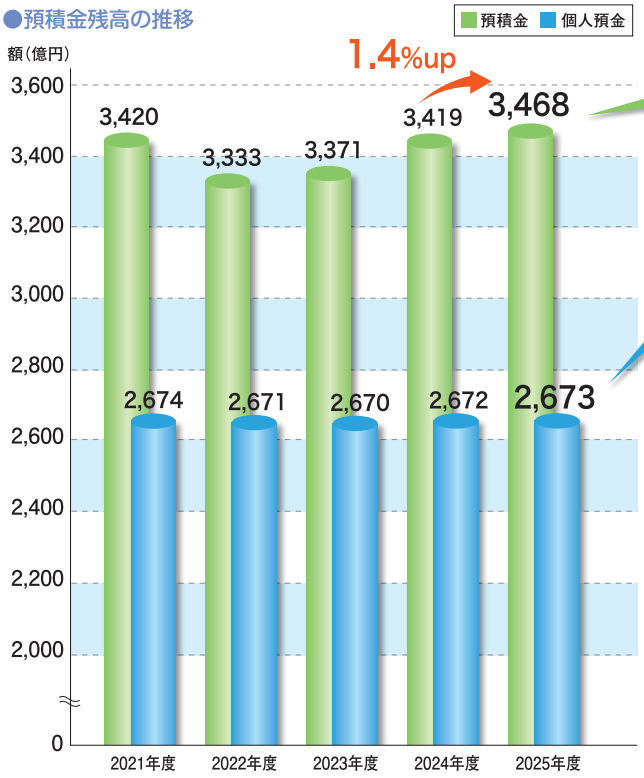
業績の概要

2025年度の業績の概要

預金の状況について

ちゅうしんは、お客さまにご満足いただける質の高い金融サービスのご提供に努めています。

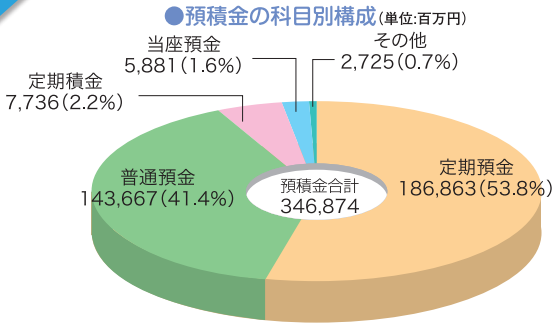
●預積金残高の推移



預積金残高 3,468億円

個人預金残高 2,673億円

●預積金の科目別構成(単位:百万円)



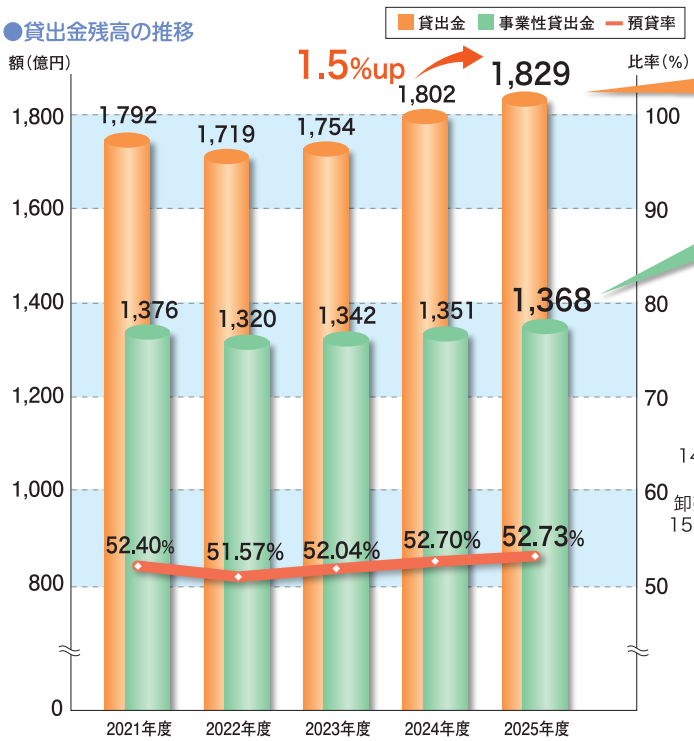
預積金は、「地域の皆さまからの信頼のバロメーター」といわれる個人の方の定期預金が中心の安定した構成となっています。

また、ちゅうしんは、お得な預金商品の開発やATMご利用手数料「無料」の継続など、お客さまのお役に立つ質の高い金融サービスのご提供に努めています。

貸出金の状況について

ちゅうしんは、地域社会の健全な発展のために必要な資金を積極的にご融資しています。

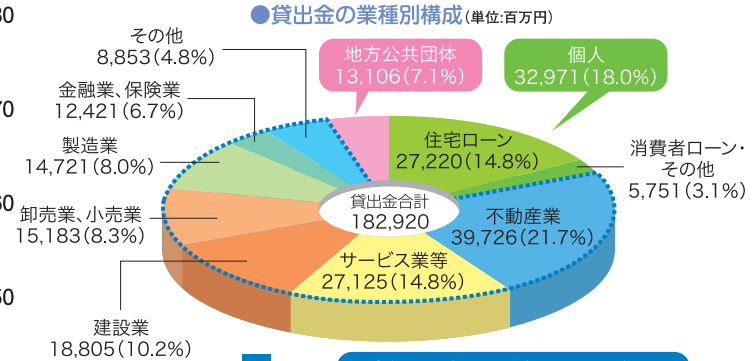
●貸出金残高の推移



貸出金残高 1,829億円

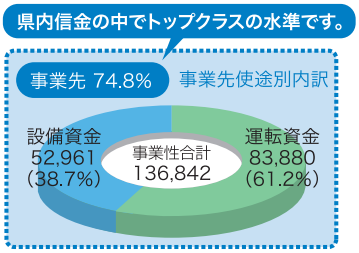
事業性貸出金残高 1,368億円

●貸出金の業種別構成(単位:百万円)



ちゅうしんは、事業性のお取引先に対する本業支援や経営安定化に向けた資金需要に積極的にお応えしており、事業性貸出比率は県内信金の中でトップクラスの水準となっています。また、個人のお取引先に対しては、資産形成や子育て・教育資金等のお役に立つ商品をご提供するなど、地域の皆さまの幅広い資金ニーズにお応えできるよう努めています。

県内信金の中でトップクラスの水準です。

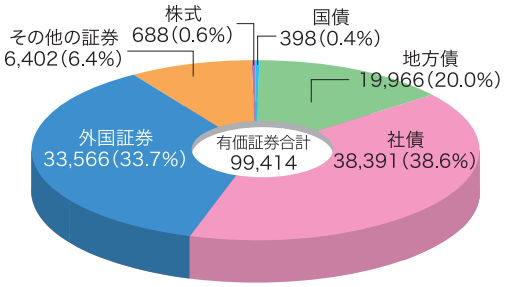


有価証券の状況について

安全性･流動性を第一に収益性を考慮した資金運用を行っています。

2025年度も不安定な市場環境ではありましたが、ちゅうしんは、市場運用利息収入の確保による収益性を考慮しつつも、安全性と流動性を第一とした運用に努めており、そのため保有する有価証券は、格付の高い社債を中心とした健全な資金運用を行っています。

●有価証券の構成（単位:百万円）



利益の状況について

おかげさまで、適正な利益を確保しています。

2025年度も業務効率化に努めるとともに、良質な貸出資産の増強や健全な預け金、有価証券運用などにより利益確保を図りましたところ、業務純益は361百万円、本業の利益を示すコア業務純益は1,031百万円となり、適正な利益を確保することができました。

また、貸出金など資産内容の健全性を高めるため厳格な自己査定に基づく適正な引当を実施するなど財務体質の強化に努め、それらの結果、当期純利益は271百万円となりました。

利益の状況（単位:百万円）

	2025年度
業務純益	361
コア業務純益	1,031
経常利益	363
当期純利益	271

コア業務純益ってなに?

ちゅうしんの本来業務（資金の運用･調達やサービスの提供など）から得られた利益を表すものです。

コア業務純益は業務純益に一般貸倒引当金繰入額を加え、有価証券関係の売買等損益を除いたものです。

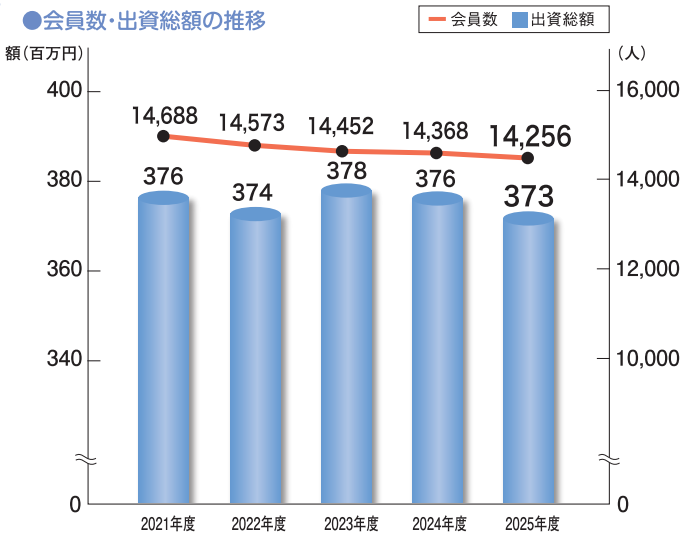
出資金と会員数

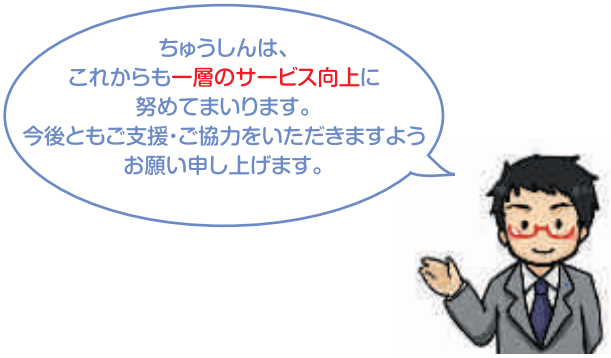
多くの会員の皆さまにご支援をいただいています。

2025年度の出資総額は、前期比3,627千円減少し、373,029千円となりました。

また、会員数は前期比112人減少し、14,256人となりました。

●会員数･出資総額の推移





TOPICS

●「ちゅうしんウェルカム2026夏」のお取扱い（2026.6.17～）

当金庫に新たな資金でお預入れいただける個人のお客さま向けの定期預金として「ちゅうしんウェルカム2026夏」をお取扱いしています。2026年9月30日までの期間限定となっていますので、この機会に、ぜひお預入れください。

詳しくは、当金庫HPまたは窓口･営業担当者にお問合せください。





●公式Instagramを運営しています

ちゅうしんは、地域貢献に向けた取組み･活動や新しい商品･サービスのご案内など、さまざまな情報を皆さまに知っていただけるよう、公式Instagramのページを運営しています。

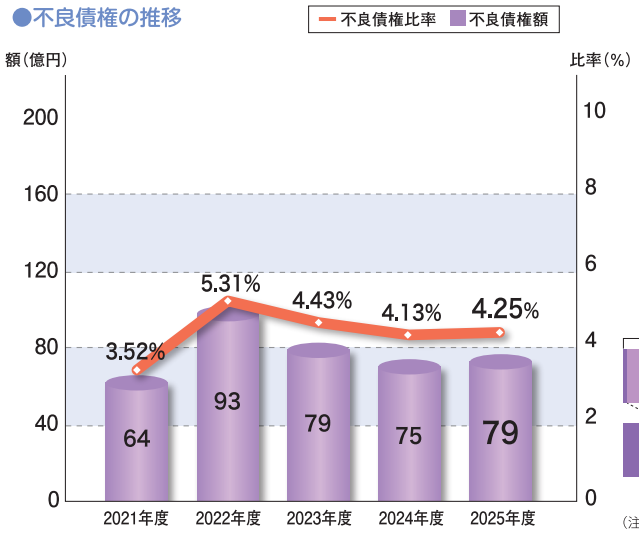
皆さまからの「フォロー」や「いいね!」を心よりお待ちしております。

【アカウント名】中日信用金庫（@chushin1565）　【URL】https://www.instagram.com/chushin1565/

不良債権の状況

ちゅうしんは、お客さまの経営課題解決や経営再建等に積極的に取組んでいます。

●不良債権の推移



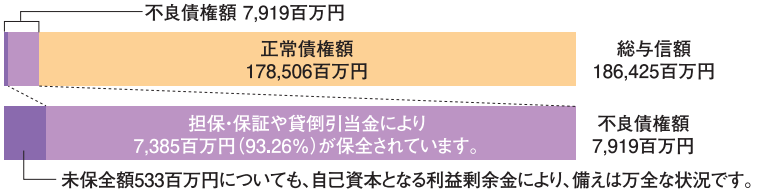
ちゅうしんは、経営状態が厳しくなったお取引先のうち、事業の維持や継続に向けて取組まれる先には、経営改善策のご相談やご融資条件の変更など、経営課題の解決や経営再建等のご支援を積極的に行っています。

不良債権には、こうしたご支援中の債権も含まれています。

不良債権に対する備えは万全です。

不良債権は、そのまま損失につながるものではありません。

不良債権については担保や保証、貸倒引当金等により9割以上が保全されており、さらに自己資本のうち利益剰余金が141億円ありますので、不良債権に対する備えは万全な状況にあります。



(注)不良債権比率については、小数点第3位以下を四捨五入により表示しております。

信用金庫法開示債権及び金融再生法開示債権の状況

(単位:百万円)

区　分		開示残高(A)	保全額(B)	担保・保証等による回収見込額(C)	貸倒引当金(D)	保全率(%)(B)/(A)	引当率(%)(D)/(A-C)
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	2024年度	1,068	1,068	545	522	100.00%	100.00%
	2025年度	1,186	1,186	806	379	100.00%	100.00%
危険債権	2024年度	6,199	5,887	5,680	207	94.97%	40.00%
	2025年度	6,281	5,923	5,684	238	94.30%	40.00%
要管理債権	2024年度	318	188	159	28	58.95%	17.71%
	2025年度	451	276	253	22	61.17%	11.41%
三月以上延滞債権	2024年度	－	－	－	－	－	－
	2025年度	－	－	－	－	－	－
貸出条件緩和債権	2024年度	318	188	159	28	58.95%	17.71%
	2025年度	451	276	253	22	61.17%	11.41%
金融再生法上の不良債権　合計(E)	2024年度	7,587	7,144	6,385	758	94.17%	63.16%
	2025年度	7,919	7,385	6,744	640	93.26%	54.56%
正常債権	2024年度	176,095					
	2025年度	178,506					
総与信(F)	2024年度	183,682					
	2025年度	186,425					
総与信に占める割合(%)(E/F)	2024年度	4.13%					
	2025年度	4.25%					

(注)1.「担保・保証等による回収見込額」(C)は、自己査定に基づいて計算した担保の処分可能見込額及び保証による回収が可能と認められる額の合計額です。
2.「貸倒引当金」(D)には、正常債権に対する一般貸倒引当金を除いて計上しております。
3.「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」及び「正常債権」が対象となる債権は、貸借対照表の「有価証券」中の社債(その元本の償還及び利息の支払の全部又は一部について保証しているものであって、当該社債の発行が有価証券の私募(金融商品取引法第2条第3項)によるものに限る。)、貸出金、外国為替、「その他資産」中の未収利息及び仮払金並びに債務保証見返の各勘定に計上されるもの並びに注記されている有価証券の貸付けを行っている場合のその有価証券(使用貸借又は賃貸借契約によるものに限る。)です。

●資産査定について

当金庫では、貸出金の厳格な自己査定(ご融資先の財務状況などから返済能力を判定(債務者区分)し、各々の債権の回収または価値の毀損の危険性の度合いに応じ分類・区分すること)を実施し、必要な保全措置を講ずるなど適正な処理を行っています。

自己査定		金融再生法開示債権	
破綻先	法的・形式的に経営破綻の事実が発生している先	破産更生債権及びこれらに準ずる債権	破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権
実質破綻先	実質的に経営破綻の状況に陥っている先		
破綻懸念先	事業は継続しているものの、今後、経営破綻に陥る可能性がある先	危険債権	債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権で、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」に該当しない債権
要注意先	業況が低調ないし不安定な先、または財務内容に問題があるなど今後の管理に注意を要する先	要管理債権	信用金庫法上の「三月以上延滞債権」に該当する貸出金と「貸出条件緩和債権」に該当する貸出金の合計額
		三月以上延滞債権	元本又は利息の支払が約定支払日の翌日から三月以上遅延している貸出金で、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」及び「危険債権」に該当しない貸出金
		貸出条件緩和債権	債務者の経営再建等を図ることを目的として、金利の減免、利息の支払猶予、元本の返済猶予、債権放棄その他の債務者に有利となる取決めを行った貸出金で、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」及び「三月以上延滞債権」に該当しない貸出金
正常先	業況が良好であり、かつ、財務内容にも問題がない先	正常債権	債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がない債権であり、破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」及び「要管理債権」以外の債権

自己資本の充実の状況

ちゅうしんの自己資本比率は国内基準で定められた4%を大幅に超える高い水準にあります。

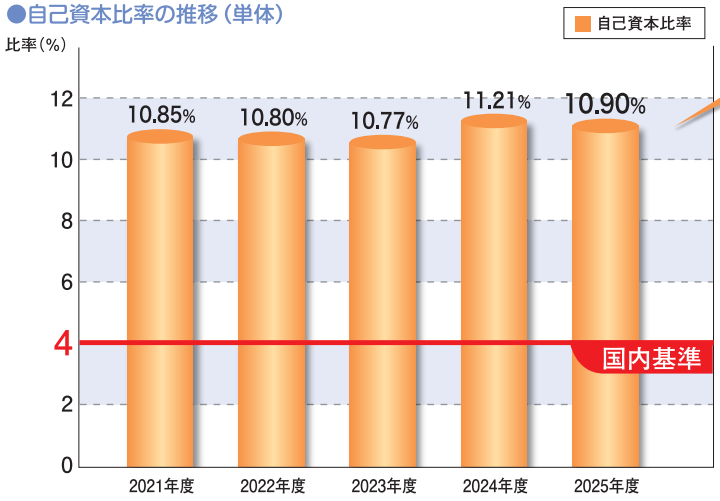
自己資本比率の概要

金融機関の「安全性」や「健全性」を示す重要な経営指標に、自己資本比率があります。

ちゅうしんは、協同組織金融機関として適正な収益確保による利益剰余金の積上げや資産内容の良化に取組み、自己資本比率は高い水準を維持しています。

また、経営体力の目安の一つである自己資本額も安定して増加しています。

●自己資本比率の推移（単体）



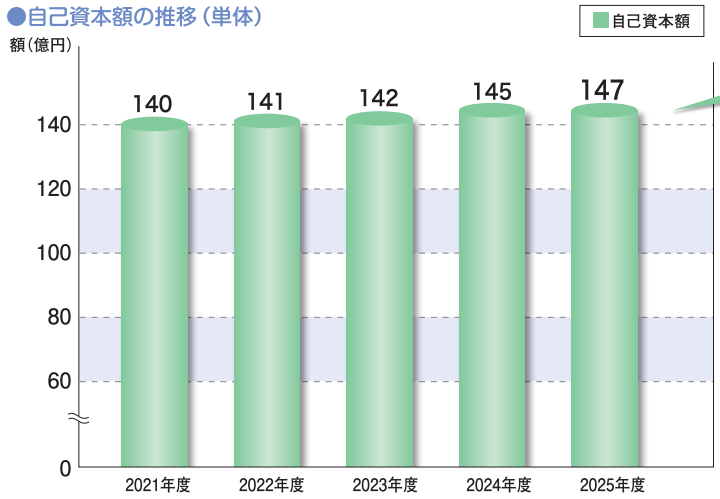
基準を大幅に超える高い水準です。

●自己資本比率及び所要自己資本額の状況　（単位:百万円）

	2025年度
コア資本に係る基礎項目の額（イ）	14,790
コア資本に係る調整項目の額（ロ）	43
自己資本の額（（イ）ー（ロ））（ハ）	14,746
信用リスク・アセットの額の合計額	128,481
オペレーショナル・リスク相当額の合計額を8%で除して得た額	6,705
リスク・アセット等の額の合計額（ニ）	135,187
自己資本比率（（ハ）／（ニ））	10.90%
信用リスクに対する所要自己資本額	5,139
オペレーショナル・リスクに対する所要自己資本額	268
単体総所要自己資本額	5,407

（注）1.所要自己資本額は、各項目の「リスク・アセット額」に4%を乗じて算出しております。
2.2024年度より、新たな自己資本比率規制（バーゼルⅢ最終化）に基づき自己資本比率の算出を行っております。

●自己資本額の推移（単体）



自己資本額も安定して増加しています。



自己資本比率（10.90%）＝ 自己資本額 14,746百万円 ／ 信用リスク・アセット（128,481百万円）＋オペレーショナル・リスク相当額÷8%（6,705百万円）

自己資本額：出資金、利益準備金、諸積立金等と貸倒引当金等の一部を加えたものです。

リスク・アセット：貸出金、有価証券などの資産にリスク・ウェイト（リスクに応じた掛目）を乗じて算出した資産の合計額です。

（注）自己資本比率の算出は円単位で計算しています。

●自己資本比率について

自己資本比率とは、総資産（リスク・アセット）に対する自己資本の割合のことで、金融機関の経営の健全性・安全性を示す代表的な指標です。

自己資本は普通出資に係る会員勘定の額（出資金、利益剰余金）と自己資本に算入可能な引当金の額（一般貸倒引当金）で構成され、総資産（リスク・アセット）は、貸出金や有価証券などの資産金額にリスク・ウェイト（資産ごとの信用リスクの度合いに応じて定められた掛け目）を乗じて算出された額とオペレーショナル・リスク相当額を8%で割って得た額の合計です。

この自己資本比率の水準により金融機関の経営を規制する制度が早期是正措置制度で、海外で営業している金融機関は国際統一基準で8%、国内のみの営業をしている信用金庫等の金融機関は国内基準で4%以上が必要とされています。これらの基準に満たない場合は水準に応じて業務改善や業務停止命令等の早期是正措置が発動されます。

ちゅうしんは、市場金利環境により変化する資産や負債が有する金利リスクを適切に計測し、健全性の維持に向けたリスク・コントロールを行っています。

金利リスクの状況

自己資本比率規制第3の柱 定量的な開示「金利リスクに関する事項」

IRRBB1:金利リスク

（単位:百万円）

項番		イ	ロ	ハ	ニ
		△EVE		△NII	
		当期末	前期末	当期末	前期末
1	上方パラレルシフト	1,543	2,004	279	294
2	下方パラレルシフト	0	0	0	0
3	スティープ化	789	1,112		
4	フラット化				
5	短期金利上昇				
6	短期金利低下				
7	最大値	1,543	2,004	279	294
		ホ		ヘ	
		当期末		前期末	
8	自己資本の額	14,746		14,508	

リスク管理の方針及び手続きの概要

○リスク管理及び計測の対象とする金利リスクの考え方及び範囲に関する説明

金利リスクとは金利変動に伴い損失を被るリスクで、資産と負債の金利または期間のミスマッチが存在している中で市場金利が変動することにより、資産価値の変動や将来の利益の低下等の損失を被るリスクを指します。当金庫では、金利リスクを重要なリスクの一つとして認識し、管理しています。

○リスク管理及びリスク削減の方針に関する説明

当金庫では、統合的リスク管理における各種リスクの一つとして、バランスシート全体の金利感応資産・負債を対象として金利リスクを管理しています。具体的にはALM委員会で協議・検討するとともに、定期的に理事会等経営陣へ報告、統合的リスク管理態勢の整備等に努め、適切な金利リスクコントロールを図っています。

○金利リスク計測の頻度

月次（前月末基準）

○ヘッジ等金利リスクの削減手法

デリバティブ取引（国債先物や金利スワップ取引等）などによる金利リスクの削減は行っていません。

金利リスク算定手法の概要

○開示告示に基づく定量的開示の対象となるΔEVE及びΔNII（銀行勘定の金利リスクのうち、金利ショックに対する算出基準日から12ヶ月を超過する日までの間の金利収益の減少額として計測されるものであって、開示告示に定められた金利ショックにより計算されるものをいう。以下同じ。）並びに当金庫がこれらに追加して自ら開示を行う金利リスクに関する事項

流動性預金に割り当てられた金利改定の平均満期	4.92年
流動性預金に割り当てられた最長の金利改定満期	10年
流動性預金への満期の割当て方法（コア預金モデル等）及びその前提	明確な金利改定間隔がなく預金者の要求によって随時払い出される流動性預金のうち、引出されることなく長期間金融機関に滞留する預金をコア預金と定義しています。当金庫では、過去の流動性預金残高の推移や市中金利に対する当金庫預金金利の追随率等を考慮した内部モデルにより要求払預金の実質的な滞留期間を算出し、銀行勘定の金利リスク量を計算しています。なお、モデルの推計値については、バックテスト等による検証を行っています。
固定金利貸出の期限前返済や定期預金の早期解約に関する前提	金融庁が定める保守的な前提を採用しています。
複数の通貨の集計方法及びその前提	通貨毎に算出した金利リスクの正値のみを単純合算することとし、通貨間の相関は考慮していません。
スプレッドに関する前提（計算にあたって割引金利やキャッシュフローに含めるか否か等）	預貸金にはスプレッドを含めず、有価証券には含めて算出しています。
内部モデルの使用等、ΔEVE及びΔNIIに重大な影響を及ぼすその他の前提	内部モデルはコア預金以外考慮していません。
前事業年度末の開示からの変動に関する説明	当期末のΔEVEは1,543百万円となり、前期末より減少しました。
計測値の解釈や重要性に関するその他の説明	当金庫の自己資本額に対するΔEVEの比率は20%を下回る水準となっており、金利リスクが顕在化した場合においても、当金庫の自己資本額は国内基準金融機関に必要とされる自己資本比率4%を維持する最低所要自己資本額を上回る十分な余裕額を確保しているものと認識しています。

○当金庫が、自己資本の充実度の評価、ストレス・テスト、リスク管理、収益管理、経営上の判断その他の目的で、開示告示に基づく定量的開示の対象となるΔEVE及びΔNII以外の金利リスクを計測している場合における、当該金利リスクに関する事項

当金庫では、有価証券の金利リスクをVaRにより管理しており、そのリスク量に上限枠を設定しています。具体的には、有価証券のVaR（保有期間3ヵ月、観測期間5年、信頼水準99%）に基づく市場リスク量に対し、リスク限度額を設定し管理することで健全性の確保に努めています。市場取引については、VaRに基づく市場リスク量の管理に加え、100BPVや残高によるポジション枠、損失限度額等も設定しており、運用方針については常に見直すことができるリスク管理態勢となっています。

また、当金庫では、自己資本の充実度の評価やストレス・テストの実施にあたり、過去の事例やシナリオに基づく金利変動による影響等を定期的に検証しています。

用語説明

金利ショック

金利の変化幅のことです。上下100ベーシス・ポイント（1%）の平行移動（パラレルシフト）等の算出方法があります。

ΔEVE（Economic Value of Equity）

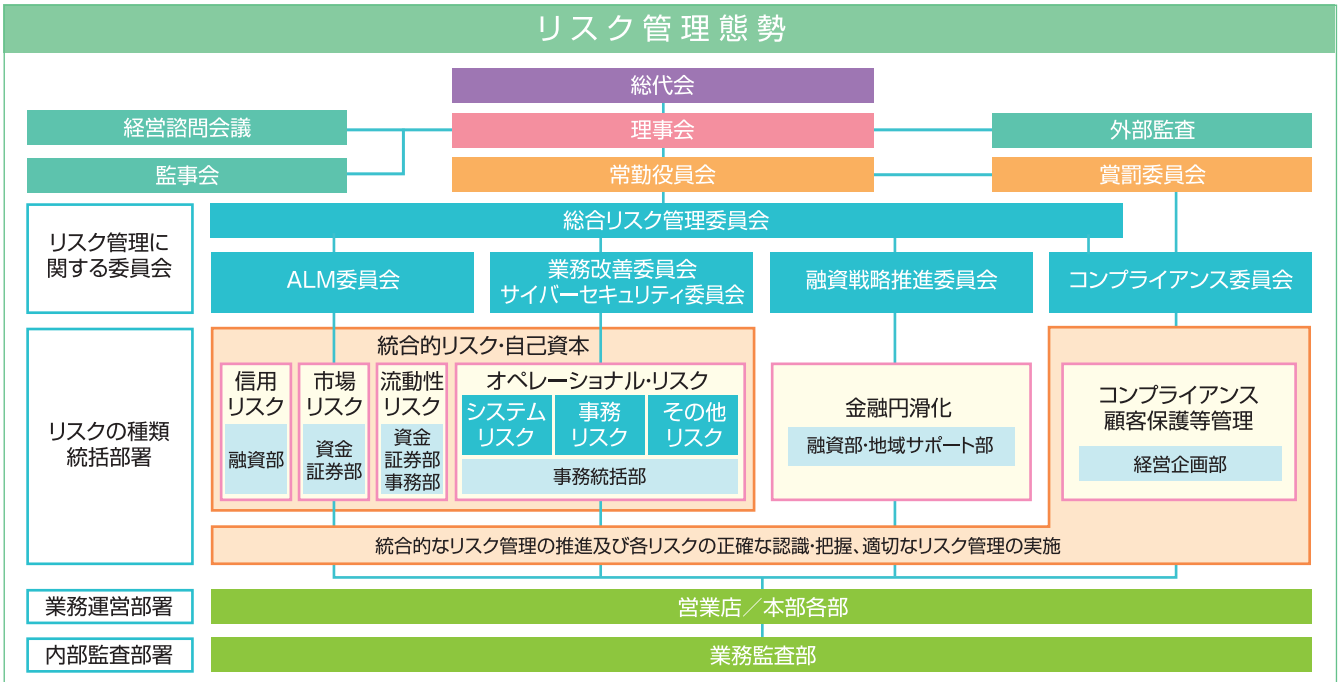
金利ショックに対する経済価値の減少額として計算され開示告示に定められた金利ショックシナリオによって計算されるものをいいます。

自己資本の充実の状況詳細については、別冊資料編「自己資本比率規制第3の柱による開示事項」P13をご覧下さい。

リスク管理・法令等遵守態勢

リスク管理態勢について

ちゅうしんは、お客さまの多様化するニーズにお応えしつつ、経営の健全性を確保していくために、リスク管理の基本方針を定め、リスク毎の委員会を設置するとともに、それらを統一化する統合的な管理態勢を構築するなど、その機能強化を図っています。



リスク管理強化への取組み

金融のグローバル化の進展や金融技術の革新などを背景に、金融機関が直面するリスクは多様化・複雑化しており、リスク管理の重要性が一層高まっています。

このような環境の中、ちゅうしんは、リスク管理を経営の最重要課題の一つとして認識し、各種リスクを管理するための基本方針を定め、各種委員会にてその管理状況を確認・討議のうえ理事会に報告することとしており、理事会は所管部に対して適時・適切に対応を指示するなどリスク管理の高度化を図っています。

今後も、ちゅうしんは、リスク管理態勢の充実・強化に取組み、健全で効率的な経営の実現に努めてまいります。

信用リスク

信用リスクとは、取引先の財務状況の悪化などにより、当金庫の資産の価値が減少ないし消失し、損失を受けるリスクのことです。

ちゅうしんは、与信が特定先や一定業種に偏らないバランスのとれた適切なポートフォリオの構築に努めるとともに、自己査定・法人格付・担保評価等のシステムにより、資産の健全性の維持・向上を図っています。

また、外部審査研修への職員派遣など人材育成の面からもレベルアップを図り、審査態勢の一層の強化に努めています。

市場リスク

市場リスクとは、金利・有価証券の価格・為替等の動きによって保有する資産の価値が変動することによって、損失を受けるリスクのことです。

ちゅうしんは、金利変動リスクを中心としたリスク管理を実施し、運用（貸出・余裕資金）、調達（預金）、及び損益を一元的に管理し、適正かつ安定的な収益を確保するよう努めています。

流動性リスク

流動性リスクとは、予期せぬ資金の流出や市場の混乱等により、通常よりコストの高い資金調達を余儀なくされることにより、損失を受けるリスクのことです。

ちゅうしんは、資金の運用、調達所要額を常に把握し、資金不足や高コスト調達が発生しないように資金繰り面に万全を期しています。

システムリスク

システムリスクとは、コンピュータ・システムの障害・誤作動・システムの不備及びコンピュータの不正使用等により損失を受けるリスクのことです。

ちゅうしんは、万一のコンピュータ・システムのダウンや誤作動に対しても、速やかな復旧ができるよう日頃より緊急対策に万全を図っているほか、定期的にシステムリスク評価を実施しています。

また、サイバーセキュリティ管理規程を制定のうえ対応する委員会を設置し、定期的に演習等を実施のうえ、態勢整備に努めています。

事務リスク

事務リスクとは、事務上のミスや不正行為により損失を受けるリスクのことです。

ちゅうしんは、諸規程・マニュアルに基づく正確な事務処理に努めているほか、事務会議や事務指導及び研修の実施により、事務取扱いのレベルアップを図っています。

さらに、部店内自主検査や業務監査部の内部監査実施により、不正防止に取組む一方、事務処理の不備の改善や事務ミス防止及び事務処理能力の向上に努めています。

その他のリスク

その他のリスクとは、法務リスク、人的リスク、災害や風評リスクなど、前記に掲げるリスク以外で損失を受けるリスクのことです。

ちゅうしんは、さまざまなリスクに備えるため、リスク管理の諸規程や危機管理計画書を整備するなど、万一の場合にも速やかな対応を図ることができるよう努めています。

コンプライアンス（法令等遵守）の態勢について

ちゅうしんは、お客さまから真に“信頼される金融機関”となるため、コンプライアンス（法令等遵守）の態勢を整備し、役職員に周知徹底することにより、全金庫的なコンプライアンス態勢の確立を図っています。

コンプライアンス態勢

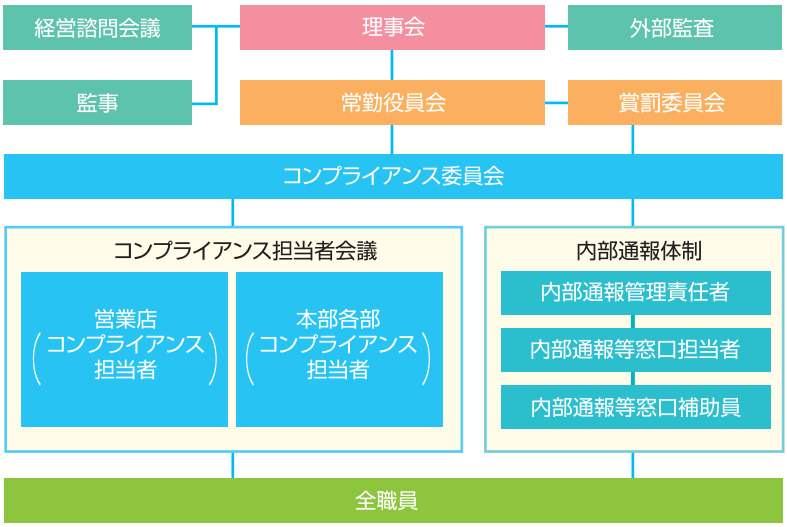
コンプライアンス重視の取組み

ちゅうしんは、コンプライアンスを経営の最重要課題として位置づけ、経営企画部が統括部門としての機能を果たすほか「コンプライアンス委員会」を定期的に開催し、コンプライアンスの強化を図っています。

また、コンプライアンス・プログラムの実践やコンプライアンス・マニュアルの活用により、コンプライアンス重視の姿勢を役職員に徹底しています。

万一、法令等違反が発見された場合、諸規程で定める報告により、直ちに本部関係部に連絡し、委員会等を開催、その対策や改善策の検討を図ることとしています。

また、職員相互の牽制機能の向上及び情報の早期把握によるコンプライアンス違反の自律的解決を目的として、内部通報体制を整備し、違反に対する責任についても「就業規則」などにより厳しく対応しています。



コンプライアンス・マニュアル

コンプライアンスに係る基本方針や遵守基準をはじめ、「信用金庫行動綱領」や具体的な行動規範等を網羅した「コンプライアンス・マニュアル」を、全職員に配布しているほか、同マニュアルは随時最新なものへ見直しを図っています。

役職員への周知徹底、啓蒙活動

役職員にコンプライアンス重視の姿勢を徹底するため、外部講師による研修会の実施、本部各部や各営業店に配置したコンプライアンス担当者を中心とした部店内研修の実施、通信教育や検定試験制度の導入などコンプライアンス教育の充実を図っています。

コンプライアンス・プログラム

諸規定の整備、内部統制の実施計画、職員の研修計画などのコンプライアンスを実現させるための具体的な実践計画書である「コンプライアンス・プログラム」は、毎年度更新し、コンプライアンス管理態勢の強化を図っています。

「コンプライアンス憲章」の制定

あらゆる事業活動において高い倫理観に基づいた活動を実践するため、中日信用金庫「コンプライアンス憲章（コンプライアンスに係る基本方針・行動指針）」を制定し、全役職員が遵守・携行することで、コンプライアンス意識の更なる強化に取組んでいます。

反社会的勢力の排除に向けた取組み

ちゅうしんは、政府から公表された「企業が反社会的勢力による被害を防止するための指針」等を踏まえ、反社会的勢力との取引の停止や解約に関する条項を預金規定、貸金庫規定及び融資関連の契約書等に取入れています。

今後も、ちゅうしんは、反社会的勢力との取引防止・関係遮断のための取組みを積極的に行ってまいりますので、お客さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。

反社会的勢力に対応する基本方針

私ども中日信用金庫は、社会の秩序や安全に脅威を与え、健全な経済・社会の発展を妨げる反社会的勢力との関係を遮断するため、以下のとおり「反社会的勢力に対応する基本方針」を定め、これを遵守します。

1. 当金庫は、反社会的勢力との取引を含めた関係を遮断し、不当要求に対しては断固として拒絶します。
2. 当金庫は、反社会的勢力による不当要求に対し、職員の安全を確保しつつ組織として対応し、迅速な問題解決に努めます。
3. 当金庫は、反社会的勢力に対して資金提供、不適切・異例な取引および便宜供与は行いません。
4. 当金庫は、反社会的勢力による不当要求に備えて、平素から警察、暴力追放センター、弁護士などの外部専門機関と密接な連携関係を構築します。
5. 当金庫は、反社会的勢力による不当要求に対しては、民事と刑事の両面から法的対抗処置を講じる等、断固たる態度で対応します。

顧客保護等管理態勢について

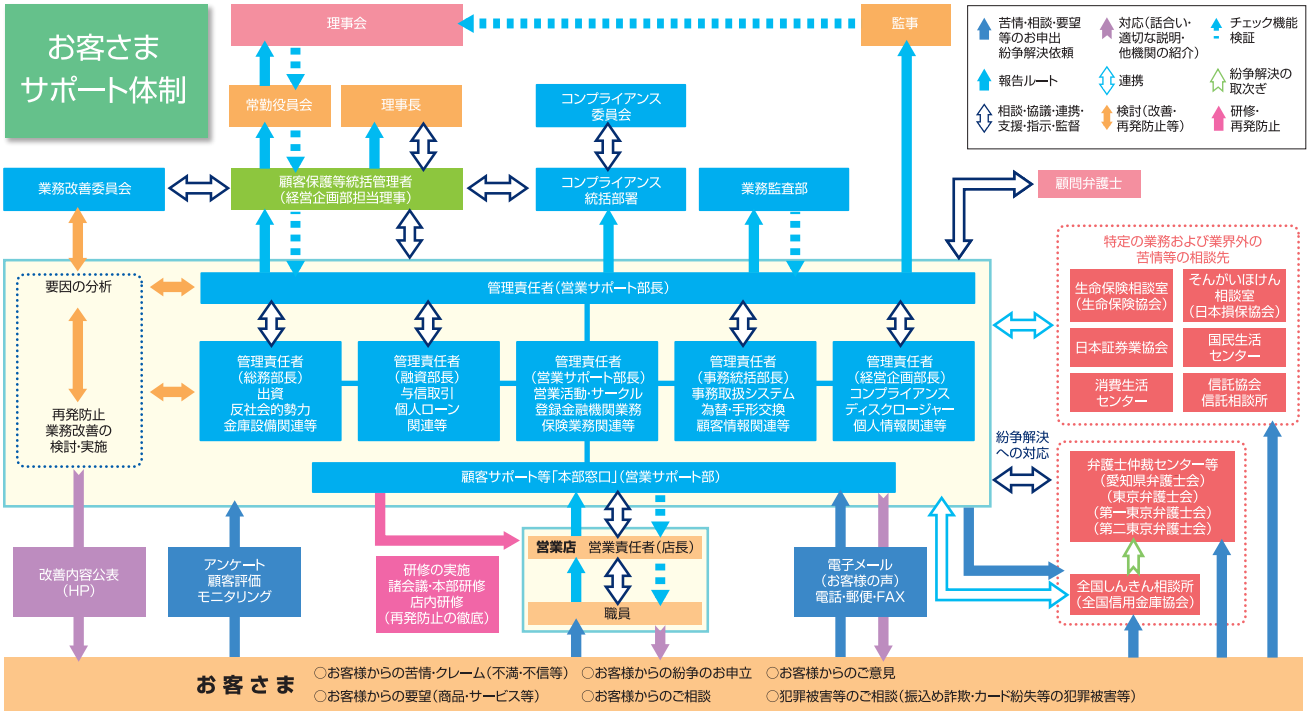
ちゅうしんは、お客さまの保護及び利便性の向上は、金庫業務の健全かつ適切な運営に欠くことのできないものであるとの認識のもと、態勢の整備、確立を図り信頼性の向上に努めています。

お客さまへの説明態勢

ちゅうしんでは、「お客さま本位の業務運営に関する取組方針」を制定し、「お客さま本位」の業務運営を徹底しています。
さらに、その実効性確保のため、研修会や勉強会を開催するとともに内部監査を実施しています。

顧客サポート態勢

お客さまからのお問い合わせ、ご相談、ご要望及び苦情など、お客さまからのさまざまなご意見を業務の改善につなげるため、「顧客サポート等対応窓口」を設置しています。



個人情報管理態勢

顧客情報の管理の適切性を確保するために「情報資産保護基本方針（セキュリティポリシー）」、「顧客情報管理規程」、「個人情報の保護と利用に関する規程」を制定し、顧客情報の適切な管理・保護を図っています。

外部委託管理態勢

ちゅうしんの業務を外部委託する場合にも、顧客情報保護の観点から、その委託先の管理を適切に行うために「個人情報の外部委託に関する管理マニュアル」を制定し、外部委託先の管理・監督を行っています。

利益相反管理態勢

ちゅうしんは、お客さまとの取引にあたり、「利益相反管理方針」に基づき、お客さまの利益が不当に害されるおそれのある取引を適切に管理し、お客さまの利益を保護することにより、お客さまからの信頼の向上を図っています。

苦情処理措置・紛争解決措置（金融ADR制度への対応）

ちゅうしんは、金融ADR制度を踏まえ、お客さまからの相談・苦情・紛争等（以下「苦情等」といいます。）のお申し出に迅速・公平かつ適切に対応するため、内部管理態勢を整備し、お客さまに対する信頼性の向上に努めています。

〔苦情処理措置〕
当金庫は、お客さまからの苦情等のお申し出に公平かつ適切に対応するため業務運営態勢・内部規則を整備し、その内容をホームページ等で公表しています。
苦情等は、当金庫営業日（9時～17時）に営業店（電話番号は最終ページ「店舗一覧」参照）または本部受付・営業サポート部（電話052-913-1153）にお申し出ください。

〔紛争解決措置〕
当金庫は、紛争解決のため、当金庫営業日に上記の当金庫本部受付または全国しんきん相談所（9時～17時、電話03-3517-5825）にお申し出があれば、愛知県弁護士会（電話052-203-1777）、東京弁護士会（電話03-3581-0031）、第一東京弁護士会（電話03-3595-8588）、第二東京弁護士会（電話03-3581-2249）の仲裁センター等にお取次ぎいたします。また、お客さまから各弁護士会に直接お申し出いただくことも可能です。
なお、前記弁護士会の仲裁センター等は、東京都以外の各地のお客さまにもご利用いただけます。その際には、お客さまのアクセスに便利な東京以外の弁護士会に案件を移す方法（移管調停）があります。ご利用いただける弁護士会につきましては、弁護士会、全国しんきん相談所、当金庫本部受付にお尋ねください。

危機管理等への対応について

ちゅうしんは、大規模災害等の危機発生時におきましても、適切に業務継続できるよう「業務継続計画（BCP）」を策定するとともに、災害発生時を想定した訓練等を実施し、職員の危機対応能力の向上に努めています。

●BCP訓練(2025.9.4、2026.2.6)




大規模災害等の発生を想定した危機管理対応訓練を定期的に実施しています。

●現金送付訓練(2026.2.6)




オンライン障害等発生時を想定し、営業店への現金送付訓練を実施しています。

サイバーセキュリティ対応について

2025年度は、金融分野におけるサイバーセキュリティ等に関する金融業界全体の合同演習訓練（2025.11.19）に参加し、実際のサイバーインシデントの発生を想定した業務継続・情報連絡対応等の訓練を実施しました。

引続き、ちゅうしんは、外部機関等と連携のうえ定期的に研修会や訓練を実施するなど、サイバーセキュリティ態勢の整備・強化に努めてまいります。




マネー・ローンダリング・テロ資金供与・拡散金融対策への取組み

ちゅうしんは、マネー・ローンダリング・テロ資金供与・拡散金融対策を経営上の重要課題の一つと位置づけ、当金庫が直面するマネー・ローンダリング等に係るリスクを特定・評価し、有効なリスク低減措置を実施することにより、マネー・ローンダリング等対策の強化を図っています。

マネー・ローンダリング等防止ポリシー

1.基本方針

当金庫は、マネー・ローンダリング等防止の重要性を認識し、金庫内のマネー・ローンダリング等の防止のための内部管理態勢を整備します。

2.組織体制

当金庫は、マネー・ローンダリング等防止の態勢を確立するため、組織全体の役割を明確に定め、実効的な管理態勢を構築します。

3.取引時確認の徹底

当金庫は、お客様と取引を行う際に取引時確認が必要となる取引及び同取引に係るお客様の属性情報の取得・管理について、法令等に基づき、適切な措置を実施できるよう、役職員に対しマネー・ローンダリング等防止についての指導・研修を行い周知徹底いたします。

4.疑わしい取引の確認及び届出

当金庫は、疑わしい取引に該当すると判断した場合には、法令等に基づき、速やかに監督官庁に届出を行うとともに、継続的なモニタリングの実施や取引謝絶などの適切な措置を適時に実施できるよう、役職員に指導・研修を行います。

5.態勢整備状況の点検

当金庫は、マネー・ローンダリング等防止に係る態勢整備状況等を定期的に点検し、その点検結果を踏まえて、更なる改善に努めます。

●お客さまに関する情報等の提出のお願い

近年、国際社会においてマネー・ローンダリング・テロ資金供与・拡散金融対策の重要性が高まっております。また、国内においても預金口座を悪用した特殊詐欺などの金融犯罪が発生しています。

ちゅうしんは、これらの犯罪行為を防止し、お客さまが安心・安全にお取引できるよう、犯罪収益移転防止法、及び金融庁から公表された「マネー・ローンダリング及びテロ資金供与対策に関するガイドライン」に基づいて様々な対策を進めています。

この対策の一環として、ちゅうしんでは、すでにお取引いただいているお客さまに関する情報やお取引目的等を定期的に確認させていただく取組みを行っております。

お客さまにおかれましては、こうした取組みをご理解いただき、ちゅうしんからの面談あるいはダイレクトメールによる確認の依頼に対して、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

地域金融円滑化への取組み

業務運営の方針

ちゅうしんは、お客さまお一人おひとりとの関係を大切にしたいと考えています。

効率性や利益性のみを追求する業務活動を慎み、お客さまと「安心と安定」の関係を築くために、地道で継続的な業務活動を展開しています。

ちゅうしんの勧誘方針

当金庫は、「金融商品の販売等に関する法律」に基づき、金融商品の販売等に際しては、次の事項を遵守し、勧誘の適正の確保を図ることとします。

1. 勧誘にあたっては、お客さまのご意思とお立場を尊重いたします。
2. 当金庫は、お客さまの知識、経験、財産の状況及び当該金融商品の販売に係る契約を締結する目的に照らして、適正な情報の提供と商品説明をいたします。
3. 金融商品の選択･購入は、お客さまご自身の判断によってお決めいただきます。その際、当金庫は、お客さまに適正な判断をしていただくために、当該金融商品の重要事項について説明をいたします。
4. 当金庫は、誠実･公正な勧誘を心掛け、お客さまに対し事実と異なる説明をしたり、誤解を招くことのないよう、研修等を通じて役職員の知識の向上に努めます。
5. 店舗内での勧誘については所定の営業時間内、訪問･電話による勧誘については9:00から20:00までといたします。ただし、事前にお客さまからのご了解をいただいている場合を除きます。
6. 金融商品の販売等に係る勧誘について、ご意見やお気づきの点等がございましたら、お近くの窓口までお問合わせください。

態勢の整備

ちゅうしんは、質の高い金融サービスをご提供できるよう、人財育成に努めるとともに、コンプライアンス遵守を徹底する態勢の整備を図っています（ちゅうしんでは、「人」を重要な財産と考えていることから、「人材」を「人財」と表示しています）。

●コンプライアンス研修会等の実施

ちゅうしんでは、コンプライアンスを経営の最重要課題に位置づけ、法令違反の未然防止と遵法精神を高め、コンプライアンス意識の更なる強化に取組んでいくため、外部講師の方を講師にお迎えし、定期的に研修会を開催しています。

また、各部店においても、部店長が講師となって毎月研修を開催するなど、全金庫的なコンプライアンス態勢の確立を図っています。





●課題解決力向上研修の開催（2025.11.14）

ちゅうしんでは、事業者の皆さまが抱えておられる課題等に対して、最適な解決策をご提案できるよう、中小企業基盤整備機構の豊島さくら氏を講師にお迎えし、若手職員を対象とした課題解決力向上研修を開催しました。

引続き、「地域未来を豊かにする」「温もりのある金融パートナー」を実践し、地域に寄り添ったご支援を継続してまいります。



●3金庫合同エンパワーメント研修の開催（2025.9.18、19）

ちゅうしんでは、女性の方が自身の強みや主体的に行動できる力（エンパワーメント）を発揮してキャリアを形成できるよう、日本ビジネスドック株式会社の植田亜津子氏を講師にお迎えし、女性職員を対象とした「エンパワーメント研修」を愛知信金･東春信金と合同で開催しました。

引続き、女性が活躍できる社会の実現に向けた態勢整備に努めてまいります。



地域金融円滑化への方針

地域の中小企業および個人のお客さまへの安定した資金供給は、最も重要な社会的使命との認識のもと、お客さまの課題解決等に向け、以下のように取組んでまいります。

地域金融円滑化のための基本方針

1.取組み方針

①お客さまからの資金需要やご融資条件の変更等のお申込みがあった場合は、これまでと同様に、お客さまの抱えている問題等を十分に把握したうえで、その解決に向けて真摯に取組みます。

②お客さまとの「お顔の見える」関係を一層強化し、これまでと同様に、適切な金融サービスのご提供をはじめ、コンサルティング機能をより一層発揮して、お客さまの経営課題に応じた最適な解決策を、お客さまの立場に立ってご提案し協働して実行してまいります。

③お客さまの経営課題等に応じて適切に対応できるよう職員の人材育成等に取組むなど、引続き、金融の円滑化のため必要な態勢の整備を図ってまいります。

2.金融円滑化措置の円滑な実施に向けた態勢整備

当金庫は、上記取組み方針を適切に実施するため、必要な態勢整備を図っています。

3.他の金融機関等との緊密な連携

当金庫は、複数の金融機関から借入れを行っているお客さまから貸付条件の変更等の申出があった場合など、他の金融機関や信用保証協会等と緊密な連携を図る必要が生じたときは、守秘義務に留意しつつ、お客さまの同意を得たうえで、これらの関係機関と情報の確認･照会を行うなど、緊密な連携を図りながら地域金融の円滑化に努めてまいります。

業務活動の展開

お客さま本位の業務運営に関する取組方針

ちゅうしんは、「お客さまの幸せづくり」をモットーに、より良い業務運営を実現するため、「お客さま本位の業務運営に関する取組方針」を制定しています。本取組方針は定期的に見直しを行うとともに、本取組方針のもと、当金庫の全役職員は、より一層の「お客さま本位」を徹底してまいります。

お客さま本位の業務運営に関する取組方針

1.お客さまの最善の利益の追求

·当金庫は、お客さまの立場に立ってニーズを的確に把握し、お客さまに「ありがとう」と言っていただけるよう誠実かつ公正に業務を運営し、お客さまにとっての最善の利益の追求に努めます。

2.利益相反の適切な管理

·当金庫は、「利益相反管理方針」を定めており、お客さまの利益が不当に害されることがないよう適切に業務を遂行し、お客さまの利益の保護に努めます。

3.重要情報や手数料等に関する分かりやすい説明

·当金庫は、金融商品·サービスのご提供にあたり、お客さまにご負担いただく手数料やリスク、取引条件、選択·推奨理由等の重要な情報について、お客さまにご理解いただけるよう、明確で分かりやすい情報提供に努めます。
·情報のご提供にあたっては、お客さまの知識や経験に応じた丁寧な説明を心がけます。

4.お客さまにふさわしいサービスの提供

·当金庫は、「勧誘方針」を定め、お客さまの知識、経験、財産の状況、お取引の目的等を踏まえ、お客さまにふさわしい金融商品·サービスのご提供に努めます。
·ご高齢のお客さま等に対しては、複数の職員による立会い又はご家族の同席等により、お客さまのご意思の確認や取引の適切性の判断について、特に慎重に対応いたします。
·お客さまからのご意見·ご要望等は、営業店及び本部に設置している「顧客サポート等受付窓口」の他、ホームページで受付し、迅速かつ適切に対応いたします。

5.職員に対する適切な動機づけの枠組み等

·当金庫は、職員一人ひとりが、本方針に基づき質の高い金融サービスをご提供できるよう、研修等の実施により、人財の育成に努めます。

経営者保証に関するガイドラインへの取組み

ちゅうしんでは、「経営者保証に関するガイドライン」及び「事業承継時に焦点を当てた『経営者保証に関するガイドライン』の特則」の主旨や内容を十分に踏まえ、お客さまからお借入れや保証債務整理の相談を受けた際に真摯に対応するため、「経営者保証に関する取組方針」を以下のとおり策定しています。同取組方針に基づき、経営者保証の必要性については、お客さまとの丁寧な対話により、法人と経営者の関係性や財務状況等の状況を把握し、同ガイドライン等の記載内容を踏まえて十分に検討するなど、適切な対応に努めています。

なお、2025年度において、新規に無保証で融資した件数は666件、新規融資に占める経営者保証に依存しない融資の割合は34.5%、保証契約を解除した件数は62件です。なお、同ガイドラインに基づく保証債務整理の成立件数(当金庫をメイン金融機関として実施したものに限る)はありませんでした。

経営者保証に関する取組方針

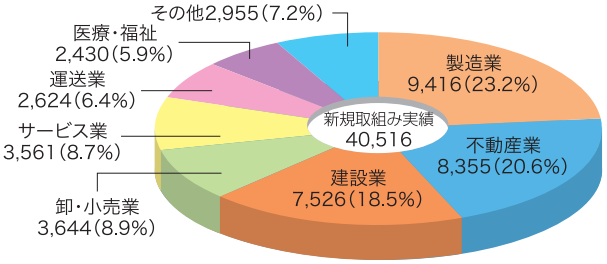
○お客さまが融資等資金調達のお申込みをした場合、当金庫では、お客さまのガイドラインの要件の充足や経営状況等を総合的に判断する中で、経営者保証を求めない可能性や経営者保証の機能を代替する融資手法(一定の金利の上乗せ等)を活用する可能性について、お客さまの意向を踏まえたうえで検討いたします。
○上記の検討を行った結果、経営者保証を求めることがやむを得ないと判断し、経営者保証を提供いただく場合、当金庫はお客さまの理解と納得を得ることを目的に、保証契約の必要性等に関する丁寧かつ具体的な説明を行います。
○経営者保証を提供いただく場合、お客さまの資産及び収入の状況、融資額、信用状況、情報開示の姿勢等を総合的に勘案して、適切な保証金額の設定に努めます。
○お客さまから既存の保証の変更·解除等の申入れがあった場合は、ガイドラインに即して改めて経営者保証の必要性や適切な保証金額等について真摯かつ柔軟に検討を行うとともに、その検討結果について丁寧かつ具体的な説明を行います。
○事業承継時には、原則として前経営者、後継者の双方から二重で経営者保証は求めないこととし、例外的に二重に保証を求めることが必要な場合には、丁寧かつ具体的な説明を行います。
また、後継者に当然に保証を引き継いでいただくのではなく、その必要性を改めて検討いたします。
○お客さまからガイドラインに基づく保証債務整理の申し出を受けた場合には、ガイドラインに即して誠実に対応いたします。

●新規の資金需要に積極的にお応えしています。

ちゅうしんは、2025年度におきまして、1,171先の事業性のお客さまに、405億円(運転資金:930先·298億円、設備資金:294先·106億円)の新規の資金需要にお応えしました。

引続き、事業を営んでおられるお客さまの資金需要にお応えするとともに、経営課題解決等に向け、補助金等の公的施策活用や新たなビジネスモデル構築等に繋がる本業支援に努めてまいります。

●新規融資取組み実績の業種別構成(単位:百万円)



SDGsへの取組み

ちゅうしんのSDGsへの取組み

ちゅうしんは、SDGsへの取組みを通じて、持続可能な社会の実現に努めてまいります。

地域経済の持続的発展

金融を通じ、地域の顧客の課題解決に努めることで、新たな価値を創出し、地域経済の持続的な成長と発展の後押しに努めます。

「創業支援セミナー」の開催(2025.8.23)



地元での起業を目指されている方のお役に立つため、清須市·北名古屋市·豊山町等と連携し、「創業支援セミナー」を開催しました。このセミナーでは、当金庫職員が講師となり、地域特性と財務から見る創業時のポイント等についてアドバイスをさせていただきました。

今後も、ちゅうしんは、地方自治体等と連携し、創業や新事業を目指されている方への積極的なご支援に努めてまいります。

「中信青年経営者会」講演会開催

お取引先企業の経営者の方で組織する「青年経営者会」において、定期的に講演会や視察旅行等を開催しています。

●視察旅行(2025.7.22~26)
「神秘の国ネパール周遊の旅」



●研修会(2025.9.18)
講師:自然写真家 松本 紀生氏
演題:オーロラの大地から

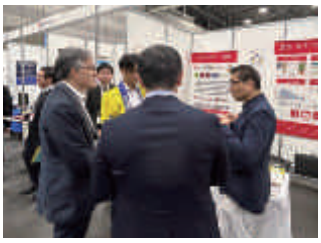


●通常総会並びに講演会(2025.11.21)
講師:経済ジャーナリスト
渋谷 和弘氏
演題:2026年 日本経済の行方
輝く組織·輝く人は?



●新春講演会並びに交礼会(2026.1.9)
講師:野球解説者 立浪 和義氏
演題:若手の育成と
チームマネジメント





ビジネスフェアの開催(2025.10.10)

お客さまの販路拡大などのビジネスチャンス創出をお手伝いするため、定期的に商談会や商品·技術展示等の「ビジネスフェア」を開催しています。

2025年度も、東海地区の信用金庫との共同による「ビジネスフェア2025」を開催し、多くのお客さまにご参加いただきました。

今後も、ちゅうしんは、お客さまの課題解決や経営改善等に繋がるご支援に積極的に取組んでまいります。

地域社会との連携

地域社会との連携に向け、多様なニーズに対応できる魅力的な職員の育成強化に努めるとともに、様々な活動を通じ、地域の未来を創る活動(共創)を推進します。



フードバンク団体への寄付金贈呈(2025.6.6)

ちゅうしんは、地域のフードバンク団体へ寄付させていただく活動を継続的に実施しています。昨今の米不足·価格高騰等がフードバンクの活動に深刻な影響を生じさせている状況を踏まえ、「セカンドハーベスト名古屋」に寄付金を贈呈しました。

引続き、ちゅうしんは、地域社会の一員として「誠実·真摯な人と組織」「地域未来を豊かにする」「温もりのある金融パートナー」の実現に向けた取組みに努めてまいります。

感謝状の授与(2025.12.15)



ちゅうしんは、金融犯罪の未然防止に向けて窓口での声掛け等の対策強化に努めています。今般、名古屋空港前支店において、特殊詐欺を未然に防止したとして、愛知県西枇杷島警察署より感謝状が授与されました。

今後も、犯罪被害の未然防止に向けた取組み強化に努めてまいりますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

中部盲導犬協会への寄付金贈呈(2026.2.16)

ちゅうしんは、障がいをお持ちの方への支援の一助になりますよう、「社会福祉法人中部盲導犬協会」へ寄付金を贈呈しました。

今後も、地域社会の一員として、SDGs達成に向けた取組みを継続し「誠実・真摯な人と組織」「地域未来を豊かにする」「温もりのある金融パートナー」を実践してまいります。





「ちゅうしん如月寄席」の開催(2026.2.20)

ちゅうしんは、プロの噺家や地元大学の落語研究会による“手作りで肩の凝らない雰囲気”の落語の寄席「ちゅうしん如月寄席」を定期的に開催し、地域の文化的発展のお役に立てるよう努めています。

●出演:三遊亭 歌武蔵氏・三遊亭 歌ん太氏・南山大学落語研究会

「ちゅうしんアートギャラリー」の開催

地元の新進アーティストの作品を展示する「ちゅうしんアートギャラリー」を定期的に開催し、夢を持つ若い人たちを応援しています。

●第38回アートギャラリー(2025.4.28～2025.10.24)
●第39回アートギャラリー(2025.10.27～2026.4.24)

開催場所 当金庫名古屋支店2F





コンサートの開催

一流の演奏家による本格的なクラシック音楽の「ちゅうしんコンサート」や地元出身の若手アーティストによる「ちゅうしんグリーンコンサート」を定期的に開催しています。

●第43回ちゅうしんコンサート(2025.11.27)
出演:赤坂 智子氏
大田 智美氏



●第18回ちゅうしんグリーンコンサート(2026.5.18)
出演:森島 未祐氏
大橋 音子氏
髙羽 陽太氏
山田 芽生氏



「食の絆定期預金」のお取扱いを通じた寄付金の贈呈(2026.3.24)

ちゅうしんは、SDGsの一環として「食の絆定期預金」を取扱いました。

この商品は、お預入れ残高に応じた所定額を当金庫が拠出し、フードバンク団体等へ寄付させていただく仕組みとなっており、昨年に引続き「フードバンク愛知」「セカンドハーベスト名古屋」に寄付させていただきました。





地域の文化的発展に向けた活動

ちゅうしんは、お客さまに文化・芸術に接する機会をご提供する「アルル会」を組織し、定期的に旅行・芸術鑑賞等を開催するなど、地域の文化的発展に貢献できるよう活動しています。

●春の日帰り旅行(2025.5.28)
近江の恵み、湖畔の贅沢
滋賀の魅力発見旅



●秋の日帰り旅行(2025.11.25)
奈良ホテル、いにしえの都で
特別な時間と出会う旅



お客さまの利便性向上に向けた取組み

ちゅうしんは、ご高齢やお身体の不自由な方に安心してご利用いただけるよう、営業店にサービス介助士・認知症サポーターを配備し、対外的なボランティア活動にも積極的に参加しています。

引続き、ちゅうしんは、”地域でいちばんやさしく、親切な信用金庫”を目指し、CS活動に取組んでまいります。









金融教育への取組み

ちゅうしんは、将来を担う若い世代にお金の大切さや金融業務について知識を深めていただくため、地元の小中学生に対する職場体験学習や、地元の学生に対してインターンシップ研修を実施するなど、信用金庫業務や金融による地域貢献についての金融教育等を行っています。

中日信用金庫SDGs宣言

中日信用金庫は、基本方針である「国民大衆並びに中小企業者の金融機関として、地域社会を豊かに明るくするため、金融を通じて貢献する」の実践により、SDGs（持続可能な開発目標）の達成に向け、持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現に貢献してまいります。



【SDGsとは】
2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals）」の略称です。「誰一人取り残さない」という基本理念のもと、2030年までに達成を目指す世界共通の目標として、貧困の根絶や格差是正、働きがい、環境保護など、17のゴールと169のターゲットが定められています。
この目標達成に向けて政府だけでなく、自治体や企業、諸団体、個人一人ひとりに役割があり、それぞれが協力・連携することが求められています。

テーマ	主な取組み事例	関連SDGs
①地域経済の持続的発展 金融を通じ、地域の顧客の課題解決に努めることで、新たな価値を創出し、地域経済の持続的な成長と発展の後押しに努めます。	○ちゅうしんビジネスセンターでの経営課題解決サポート ○経験値活用型サポート人財交流会の開催 ○ちゅうしんビジネス交流会の開催 ○中信青年経営者会における講演会・セミナーの開催 ○ビジネスマッチング等の開催 ○新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けられた方への支援 ○キャッシュレス決済・デジタル化の推進	
②地域社会との連携 地域社会との連携に向け、多様なニーズに対応できる魅力的な職員の育成強化に努めるとともに、様々な活動を通じ、地域の未来を創る活動(共創)を推進します。	○高齢者等見守り活動　○認知症サポーター・サービス介助士の配置 ○愛知県「認知症パートナー企業」登録　○「ソーシャルビジネスサポートあいち」参画 ○特殊詐欺被害防止の啓蒙活動　○地元中学生の職場体験の実施 ○ちゅうしんコンサート・グリーンコンサートの開催　○如月寄席の開催 ○アートギャラリーの展示　○各種イベントブース等における職場体験 ○健康経営の取組支援(健康宣言認定事業所への優遇制度)　○災害用トイレの設置 ○名古屋市「がん対策に関する協力」協定　○社会福祉法人やNPO法人等への寄付 ○働き方改革の推進(愛知労働局との包括連携協定)　○電話リレーサービス対応 ○「名古屋市ワーク・ライフ・バランス推進企業」認証　○こどもの未来古本募金への参加 ○愛知県「あいち女性輝きカンパニー」認証　○産後パパ育休・育休職場応援手当の制定 ○愛知県「あいち女性の活躍プロモーションリーダー」受嘱　○フードドライブの実施 ○産学官連携の強化による地域社会の発展支援　○「名古屋市ブランドパートナー」登録 ○東京海上日動火災保険株式会社との「SDGsの推進に関する包括連携協定」締結 ○フコクしんらい生命保険株式会社との「共同寄付スキーム」の取扱い ○マネロン・テロ資金供与対策の高度化　○コンプライアンスの徹底 ○ATM等タッチパネルへの抗菌液晶保護フィルムの貼付 ○信金中央金庫「ふるさと応援団」を活用した清須市への寄附 ○内閣府及び名古屋市とSDGs推進に向けた連携プラットフォームの登録	
③環境保全 「人と環境にやさしい金融機関」を目指し、"豊かな自然"を未来の子供たちに残すため、継続的に、環境や生物多様性の保全活動に取り組みます。	○環境配慮型商品の取扱い ○環境保全団体等への寄付 ○店舗の環境配慮対応 ○名古屋市「エコ事業所」認定 ○クールビズ、ウォームビズの実施 ○SDGs債への投資 ○ペーパーレス化の促進 ○プラスチックごみの削減 ○「あいちに自然史博物館を!協議会」への寄付 ○光熱費削減運動の実施	

●CBCラジオへ番組を提供しています

ちゅうしんは、お客さまのお役に立つ情報を発信したいと考え、CBCラジオへ番組を提供しています。この番組は、様々な社会問題や話題の人へのインタビュー等、知的好奇心を刺激する情報が満載の内容となっています。ぜひ、お聴きください。

・番組名／「中日信用金庫プレゼンツ であい ふれあい 探検隊!!」
・放送日／CBCラジオ 毎週土曜日 11時22分頃
・パーソナリティー／中京大学経済学部客員教授 内田俊宏氏・CBCアナウンサー 加藤由香氏



●「名古屋市ブランドパートナー」に登録されました

ちゅうしんは、信用金庫として初めて「名古屋市ブランドパートナー」として登録されました。
「名古屋市ブランドパートナー」とは、名古屋市の魅力や価値を創出・発信していくことで名古屋ブランドの確立を図る企業・団体を登録する制度であり、引続き名古屋市と連携強化を通じて地域経済の一層の活性化に協力してまいります。

NAGOYA
やさし、あたらし、大名古屋

金庫の概要

主要な事業内容

当金庫における主要な事業の内容は次のとおりです。

預金業務
- ① 預金積金　当座預金、普通預金、貯蓄預金、通知預金、定期預金、定期積金、別段預金、納税準備預金を取扱っております。
- ② 譲渡性預金　譲渡可能な預金を取扱っております。

貸出業務
- ① 貸付　手形貸付、証書貸付及び当座貸越を取扱っております。
- ② 手形の割引　商業手形の割引を取扱っております。

有価証券投資業務
預金の支払準備及び資金運用のため国債、地方債、社債、株式、外国証券その他の証券等に投資しております。

内国為替業務
送金為替、当座振込及び代金取立等を取扱っております。

付帯業務
- ① 代理業務　・日本銀行歳入代理店
  ・地方公共団体の公金取扱業務
  ・株式払込金の受入代理業務
  ・(株)日本政策金融公庫等の代理貸付業務 等
- ② 保護預り及び貸金庫業務
- ③ 有価証券の貸付
- ④ 債務の保証
- ⑤ 公共債の引受
- ⑥ 国債等公共債の窓口販売
- ⑦ 保険の窓口販売業務
- ⑧ 電子債権記録業に係る業務
- ⑨ 個人向け信託商品の媒介業務
- ⑩ 確定拠出年金の取次ぎ業務

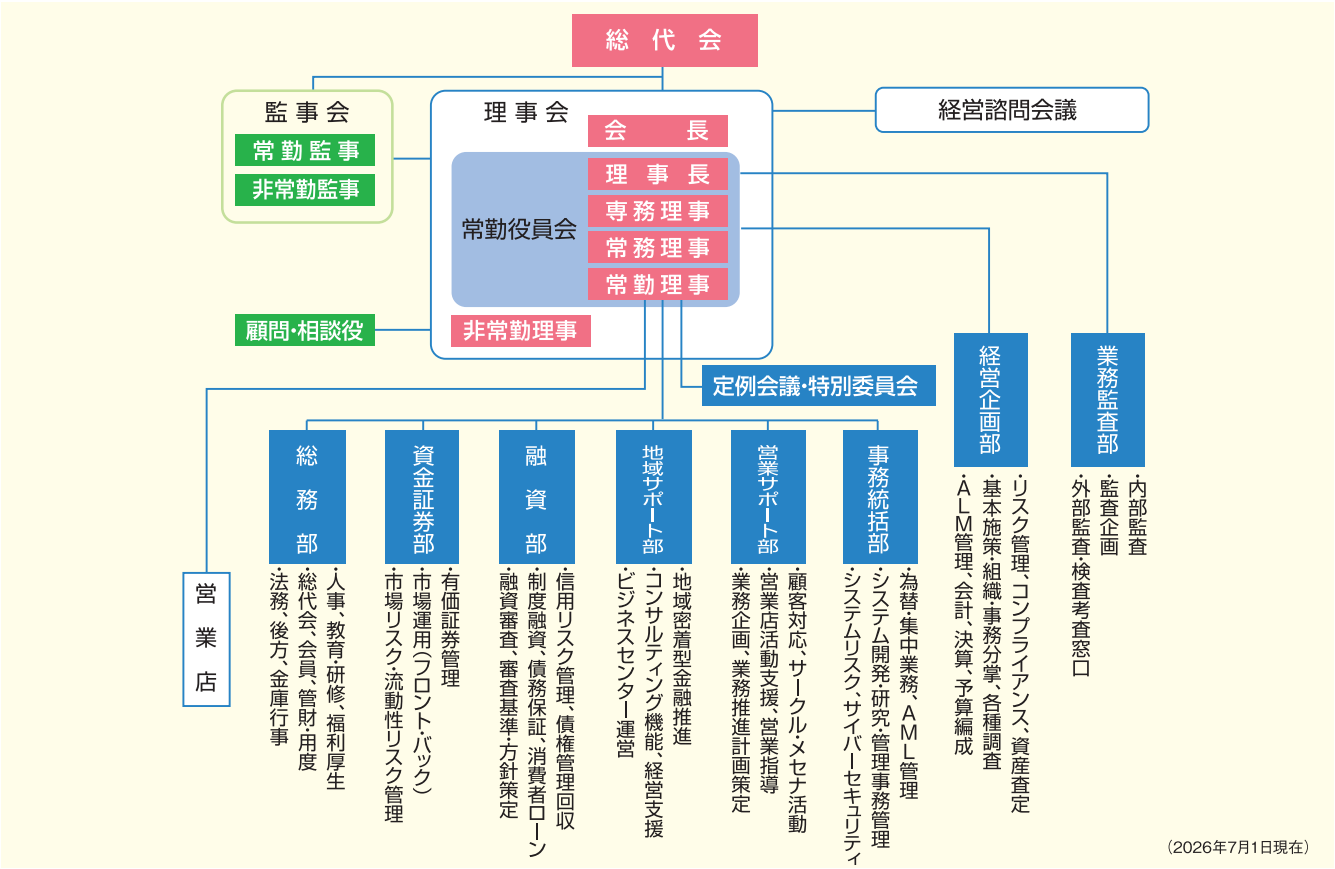
役員の状況

(2026年7月1日現在)

理事長	(代表理事)	冨田　勝
常務理事	(代表理事)	西村　粋
常務理事	(代表理事)	大橋　正幸
理事		吉田　昌典
理事		鈴木　靖之
理事		石川　博文
理事		明田　智司
理事	(非常勤)	荒井　好和※
常勤監事		久保田健嗣
監事	(非常勤)	中津　健二
監事	(員外・非常勤)	栗原　裕

※信用金庫業界の「総代会の機能向上策等に関する業界申し合わせ」に基づく職員外理事です。

組織図



信用金庫の運営について

信用金庫の最高議決機関は総会または総代会であり、議決権は会員一人1票制をとっています。総代は定款の定める方法によって会員の中から選任します。
また、総会(総代会)では、理事及び監事が選任され、理事によって理事会が構成されます。(総代会制度につきましては、P23をご覧ください。)
理事長などの代表理事は理事会で選任され、信用金庫の日常業務は理事会の決定を踏まえて行われます。

金庫の歩み

昭和27年(1952年)	・愛知県西春日井郡新川町に「西春日井信用組合」を設立 ・「清洲出張所」・「西春出張所」開設
28年(1953年)	・「栄生支店」開設
29年(1954年)	・信用金庫法に基づき、「中日信用金庫」と改組
31年(1956年)	・「浄心支店」開設
32年(1957年)	・「西春出張所」を支店に昇格
34年(1959年)	・「上飯田支店」開設
35年(1960年)	・「清洲出張所」を支店に昇格
36年(1961年)	・「矢田支店」開設
39年(1964年)	・「中川支店」開設
42年(1967年)	・「守山支店」開設
44年(1969年)	・預金100億円達成 ・「名古屋空港前支店」開設
46年(1971年)	・貸出金100億円達成
48年(1973年)	・日本銀行と当座取引開始
49年(1974年)	・コンピュータ導入、オフラインスタート
50年(1975年)	・「甚目寺支店」開設
51年(1976年)	・「中信青年経営者会」「中信ファミリー会」発足
54年(1979年)	・預金500億円達成
55年(1980年)	・「上社支店」開設
56年(1981年)	・第一次オンライン(全店全預金科目)スタート ・「藤島支店」開設 ・主要店舗のATM稼働開始
57年(1982年)	・「名古屋支店」開設
58年(1983年)	・貸出金500億円達成 ・第二次オンライン(融資・日計)スタート ・証券業務取扱開始 ・「西枇杷島支店」開設
59年(1984年)	・両替業務取扱開始 ・外国為替取次開始 ・「尾張旭支店」開設 ・「本店(現在の新川支店)須ケ口出張所」開設
61年(1986年)	・キャッシュコーナー集中管理システム導入 ・「光城支店」開設 ・「浄心支店 柳原出張所」開設(後に本店へ移管)
62年(1987年)	・預金1,000億円達成
63年(1988年)	・営業地区を名古屋市全域に拡張
平成2年(1990年)	・「本店」を名古屋市北区に移転、 旧本店は「新川支店」として営業開始 ・サンデーバンキング開始 ・第1回「ちゅうしんコンサート」開催
5年(1993年)	・第1回「ちゅうしん如月寄席」開催 ・「ちゅうしんアルル会」発足
6年(1994年)	・預金1,500億円達成
7年(1995年)	・貸出金1,000億円達成
8年(1996年)	・「平田支店」開設　・優遇金利制度「アルファ」取扱開始
9年(1997年)	・日・祝日全店ATM稼働実施
10年(1998年)	・「本店 柳原出張所」「新川支店 須ケ口出張所」を支店に昇格
平成11年(1999年)	・「守山支店」新築移転
12年(2000年)	・電子帳票システム導入
13年(2001年)	・保険窓口販売業務取扱開始
14年(2002年)	・愛知県「ミニ公募債」の窓口販売開始 ・「矢田支店」新築移転　・預金2,000億円達成
15年(2003年)	・PDA(携帯端末)本格稼働 ・名古屋市「ミニ公募債」の窓口販売開始
16年(2004年)	・無利息型普通預金取扱開始
17年(2005年)	・「新総合オンラインシステム」スタート
18年(2006年)	・「西春支店」環境配慮型(エコ)店舗新築
21年(2009年)	・第1回 生物多様性日本アワード「優秀賞」受賞 ・第3回 名古屋市エコ事業所「優秀賞」受賞
22年(2010年)	・「環境方針」制定と「環境レポート」の発行 ・「清洲支店」新築移転
23年(2011年)	・「尾張旭支店」新築移転　・預金2,500億円達成
24年(2012年)	・第1回なごや環境活動賞環境首都づくり貢献部門 「優秀賞」受賞
25年(2013年)	・「名古屋支店」新築移転 ・大同大学との産学連携協定締結
26年(2014年)	・名古屋芸術大学との産学連携協定締結 ・「上社支店」改め「名東支店」新築移転
27年(2015年)	・店舗内ATMの利用時間延長 ・「中川支店」新築移転
28年(2016年)	・清須市・小牧市と「地方創生に係る包括連携協定」協定書締結 ・北名古屋市・清須市・豊山町及び各市町商工会と 「創業支援事業連携協力に関する包括協定」締結
29年(2017年)	・愛知労働局と「働き方改革にかかる包括連携協定」締結 ・預金3,000億円達成
30年(2018年)	・ちゅうしんビジネスセンター開設
令和元年(2019年)	・愛知県「あいち認知症パートナー」企業の登録 ・中日信用金庫「SDGs宣言」の表明
2年(2020年)	・新型コロナウイルス感染症に関する緊急相談窓口の設置 ・貸出金1,500億円達成
3年(2021年)	・一部店舗の「窓口営業時間」の変更実施
4年(2022年)	・信金中央金庫「SCBふるさと応援団」を活用した清須市への寄附金の贈呈 ・中日信用金庫「コンプライアンス憲章」の制定
5年(2023年)	・「営業店窓口支援システム」の導入 ・役職員の「ネクタイ」及び「リボン」着用の自由化
6年(2024年)	・中日信用金庫"パーパス"の制定 ・柳原支店・須ヶ口支店の店舗体制の変更(店舗内店舗化) ・全店舗での「窓口営業時間」変更(昼休業実施) ・中日信用金庫公式インスタグラムの開設
7年(2025年)	・「平田支店」新築移転 ・愛知県警と「金融犯罪に係る情報提供に関する協定」締結 ・「名古屋市ブランドパートナー」の登録 ・ビジネスカジュアルの導入
8年(2026年)	・しんきん保証基金「WEB完結ローン」の取扱い開始 ・愛知県防災安全局「あいち消防団応援の店」への登録

総代会制度について

ちゅうしんは、国民大衆並びに中小企業者の金融機関として、地域社会を豊かに明るくするため、金融を通じて貢献することを基本方針に、会員相互が「信頼」と「互恵」の精神を持って、会員一人ひとりの意見を尊重する協同組織金融機関です。

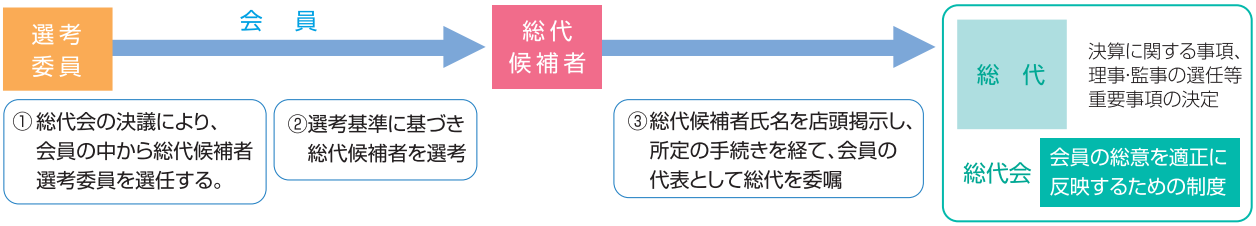
従いまして、会員は出資口数に関係なく、一人1票の議決権を持ち、総会を通じて金庫の経営に参加いただくことになりますが、ちゅうしんは、会員数が大変多く、総会の開催は事実上不可能なため、会員の総意を適正に反映し充実した審議を確保するため、総会に代えて総代会制度を採用しています。

この総代会は、決算、取扱業務の決定、理事・監事の選任等の重要事項を決議する最高意思決定機関です。従いまして、総代会は総会と同様に、各業種の会員一人ひとりの意見が当金庫の経営にバランスよく反映されるよう、業種別構成等に配慮し、会員の中から適正な手続きにより選任された総代により運営されます。

また、ちゅうしんは、総代会に限定することなく、顧客満足度アンケートや、会員の皆さまから広くご意見・ご要望をお受けするなど、日常の事業活動を通じて、総代や会員とのコミュニケーションを大切にし、さまざまな経営改善に取組んでいます。

なお、総代会の運営に関するご意見やご要望につきましては、お近くの営業店までお寄せください。

総代会は、会員一人ひとりの意見を適正に反映するための開かれた制度です。



総代の氏名等

選任区域(定数)	対象地域・総代氏名(敬称略)
第一区(23～30人)	名古屋市北区・西区・中村区　(総代数26人・会員数3,528人)
	(株)石井⑧、梅本　隆弘⑥、(株)カケン⑥、川辺建設(株)⑩、越秀運輸倉庫(株)⑥、(医)光寿会⑨、(株)三友調査設計⑩、(医)歯恩会② 杉山　正純⑩、(有)鈴英工業⑥、(株)第一印刷⑩、大弘(株)②、(有)大興工業⑥、(株)タナカ⑨、(有)東海エンジニアリングサービス② ナガイホールディングス(株)②、(有)野崎石油店⑨、橋本　晋平⑤、藤間工業(株)⑩、双葉酒造(株)⑩、丸安ニット(株)④、(株)ムカイ① (学)村瀬学園⑩、村瀬 光成③、名昭産業(株)⑤、(株)名北タイヤサービス①
第二区(30～39人)	名古屋市東区・中川区・守山区・名東区・千種区・中区・昭和区・天白区・瑞穂区・熱田区 港区・南区・緑区・尾張旭市・瀬戸市・長久手市・日進市・東海市・知多市・常滑市・知多郡武豊町　(総代数34人・会員数5,048人)
	(株)アイセイ⑧、(株)イシックス⑥、臼井モータース(株)⑧、(学)英正学園⑩、(株)エフディ④、大島　秀基①、加藤　惺⑩ KYタイル(株)⑩、(株)KOTOBUKI⑤、(株)サッポロエンジニアリング⑩、佐藤　一彦①、敷島電気(有)⑩、重倉　朋和⑩、(医)杉山会④ (有)創美⑦、(株)大邦建設⑩、谷口　充⑤、中部建材(株)③、中部高周波工業(株)④、(株)辻鐵工所⑦、東海イオン(株)① (株)中川工務店⑩、(株)中建築設計事務所⑥、野村運送(株)⑩、(医)八誠会⑩、(株)廣瀬技術研究所⑥、双葉興産(株)④ (株)水野会計①、宮崎 晃吉⑤、(株)モリ山技研⑨、守山工業(株)①、(株)ヤマケンビル⑩、(株)友愛玩具⑩、(有)余語⑥
第三区(28～36人)	清須市・稲沢市・津島市・弥富市・あま市・愛西市・海部郡蟹江町・大治町・飛島村　(総代数30人・会員数3,231人)
	(株)石川機工③、石川屋建材(株)⑧、遠藤 康代⑦、大屋丹藏製作所(株)⑩、(株)尾張屋⑩、(株)加藤理研工業⑩、(株)カミヤ① (株)靴のホッタ③、(株)後藤重⑩、(有)紺松⑤、鈴木　住子⑥、(資)靖和鐵工⑩、(株)大功紙器⑧、中日運送(株)⑩、中京油研(株)⑦ 中島　經巳⑨、(株)バードスタジオ⑩、(株)フタムラ建材店⑩、(株)豊公石油①、(株)水野米商店⑩、(資)宮崎商店⑩、(有)メイセイ③ 明和工業(有)⑩、(株)八神工務⑧、山本 道子⑤、豊設備工業(株)⑩、横井 明男⑥、吉川 元啓③、(有)渡部材木店⑩、(株)和田製作所⑤
第四区(19～25人)	北名古屋市・小牧市・春日井市・岩倉市・一宮市・江南市・西春日井郡豊山町 丹羽郡大口町・扶桑町・犬山市　(総代数24人・会員数2,449人)
	愛知ヨーク(株)⑩、愛豊自動車販売(株)⑥、菊谷　和正④、光洋ホーム(株)③、小山　憲一①、柴山住宅(株)④、(株)新和建設⑩ 杉野 祐敬③、鈴木クレーン(株)⑨、(有)セントラルカーゴ②、(株)丹風園⑩、中京サインボトリング協業組合⑩、中京製管(株)② (株)中日長栄社⑩、中日本航空(株)⑩、西枇工業(株)⑩、丹羽自動車(株)⑩、(株)林鉄工所②、船橋　重喜⑩、名北陸運(有)⑩ 守商産業(株)⑥、ユアサ産業(株)⑧、ヨーキ産業(株)⑩、(資)ワタセイ⑩
	合　計　(総代数114人・会員数14,256人)

※法人名・個人名の後の数字は、総代就任回数を表示しております。　(2026年3月末現在)

総代の属性別構成比

人　格　別	法人:82.5%　個人:17.5%
年　代　別	70代以上:60.0%　60代:30.0%　50代:5.0%　40代以下:5.0%
業　種　別	製造業:34.0%　建設業:19.1%　サービス業等:17.0%　卸・小売業:17.0%　運輸・郵便業:8.5%　その他:4.3%

※年代別構成比は個人の総代、業種別構成比は法人の総代に限ります。

総代とその選任方法について

総代の任期･定数

当金庫の総代定数は定款により「100人以上130人以下」とし、任期を「3年」と定めています。

また、金庫の地区を4区の選任区域に分け、選考年度の直近3月末の会員数に応じて各区における総代の定数を定めています。

総代の選任方法

総代は、会員の代表として、会員の総意を金庫の経営に反映する重要な役割を担っています。

そこで総代は、定款で定められている次の手続きを経て選任されます。

①総代会の決議により、会員の中から総代候補者選考委員を選任する
②総代候補者選考委員が総代候補者を選考する。
③選考された総代候補者を会員が信任する。
（異議があれば申し立てる。）

総代候補者の選考基準

総代候補者は、当金庫の会員のうち、次の要件に該当するものから選考されます。

①総代として相応しい見識を有していること
②良識を持って正しい判断ができること
③金庫の理念･使命を十分理解していること

第72期通常総代会の決議事項

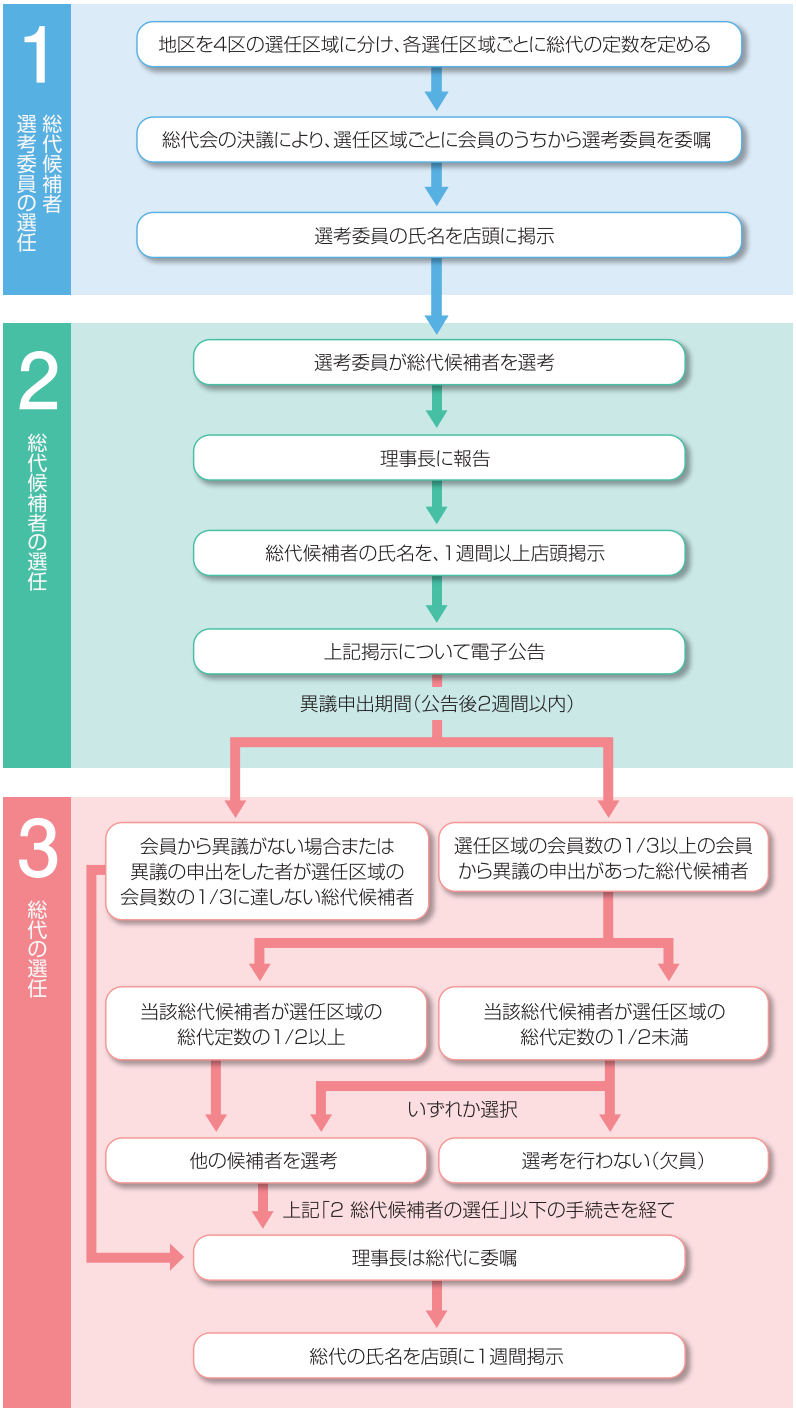
2026年6月18日（木）に開催された第72期通常総代会において、次の事項が付議され、原案のとおり承認されました。

●報告事項

第72期（令和7年4月1日から令和8年3月31日まで）業務報告、貸借対照表および損益計算書の内容報告の件

●決議事項

第1号議案　第72期剰余金処分案承認の件
第2号議案　理事8名選任の件
第3号議案　監事3名選任の件
第4号議案　退任理事および退任監事に対し退職慰労金贈呈の件



［会員の皆さまへのお願い］

1.配当金支払通知書に記載の「お名前、ご住所」に万一相違がございましたら、お手数をおかけしますが、取扱店までお知らせください。
なお、取扱店が不明な場合は、当金庫総務部（TEL:052-913-8111）へご連絡ください。

2.下記事項に変更等がございましたら、変更内容を必ず取扱店までお届けください。
なお、変更事項により必要書類が異なりますので、詳しくは取扱店にお尋ねください。

お届出事項	◎ご住所の変更　◎お名前の変更（名義人の死亡･代表者の変更等） ◎届出印の変更　◎その他の変更

3.配当金の「お受取り口座」をご指定されていない方は、便利な預金口座での「自動受取り（口座振替）」をご利用ください。
手続きは簡単です。詳しくは取扱店にお尋ねください。
なお、自動受取り（口座振替）のご指定口座は、当金庫本支店の口座とさせていただきます。

営業のご案内

ためる･ふやす

主な預金

商品名	内容・特色
普通預金･総合口座	
普通預金	自由に出し入れができ、給与･年金のお受け取りや公共料金、各種クレジット料金の自動支払いに便利な預金です。
無利息型普通預金	預金保険制度により全額保護の対象となります。お利息はつきません。
総合口座	1冊の通帳に普通預金、定期預金をセットしました。 定期預金の残高合計額の90%、最高500万円まで自動的にご融資いたします。
後見支援預金	被後見人の財産を管理するための預金です。
定期預金	
スーパー定期	1,000円から気軽にお預け入れいただける定期預金です。
大口定期	1,000万円以上の大口資金の運用に適した定期預金です。
期日指定定期	1年経過後は、満期日を自由に指定できます。(最長3年)
変動金利定期	金利情勢に応じて6ヶ月毎に金利が見直される定期預金です。
年金ご予約定期「夢待人～これからの夢～」	ちゅうしんで年金受取のご予約をしていただいた方を対象とした定期預金で、 スーパー定期の店頭表示金利に「年金優遇金利」を上乗せいたします。
年金定期「夢福」	ちゅうしんで年金をお受け取りされている方を対象とした定期預金で、 スーパー定期(1年もの)の店頭表示金利に「年金優遇金利」を上乗せいたします。
退職金定期「夢･浪漫」	退職金を受け取られた方を対象とした定期預金で、スーパー定期の店頭表示金利に「退職金定期優遇金利」を上乗せいたします。
相続定期「架け橋」	相続金を受け取られた方を対象とした定期預金で、スーパー定期または大口定期の店頭表示金利に 「相続定期優遇金利」を上乗せいたします。
定期積金	
スーパー積金	将来のプランに合わせて、計画的に毎月積立てていただく預金です。
年金積金「矍鑠人」	ちゅうしんで年金をお受け取りされている方を対象とした積金で、スーパー積金の店頭表示金利に「年金優遇金利」を上乗せいたします。
その他預金	
貯蓄預金	自由に出し入れができ、お預け入れ残高により金利設定されている預金です。
通知預金	まとまった資金を短期間で運用していただく場合に適した預金です。
納税準備預金	納税資金を計画的にご準備いただく預金です。お利息は非課税です。
当座預金	商取引に安全で効率的な手形･小切手をご利用いただくための預金です。

※詳しい商品内容は、店頭の「当金庫の商品のご案内」･「パンフレット」をご覧ください。

かりる

主な個人向けローン

商品名	内容・特色
住宅ローン	
中日住宅ローン	住宅の新築･購入･借換資金･つなぎ資金等にご利用いただけます。
無担保住宅ローン	無担保で住宅の新築･購入･リフォーム･空き家解体費用･借換資金にご利用いただけます。
住まいるローン	当金庫提携の土地区画整理組合等が販売する保留地購入や住宅建築資金にご利用いただけます。
カードローン	
しんきんカードローン	お使い道自由で便利なカードローンです。
ちょBitカード	
カードローンwith C	
カードローンきゃっする	
シニアきゃっする	年金をお受け取りされている方を対象としたカードローンです。
自動車ローン	
カーライフローン	自動車･オートバイ等の購入や諸経費にご利用いただけます。
学資･教育ローン	
学資ローン	学校等への入学金や受験費用等教育に関する資金にご利用いただけます。
教育カードローン	学校等への入学金や受験費用等教育に関する資金にご利用いただけるカードローンです。
その他のローン	
福祉ローン	介護用機器の購入･設置や老人ホームの入居一時金等にご利用いただけます。
子育て応援ローン	出産･子育て(小学校入学まで)にかかる資金としてご利用いただけます。
先進医療ローン	先進医療にかかる治療費用にご利用いただけます。
シニアライフローン	健康で文化的な生活のために必要な資金にご利用いただけます。
住宅サポートローン	当金庫で住宅ローン(しんきん保証付･有担保)をご契約の方が、インテリアや家電等の購入資金にご利用いただけます。
プレミアムローン	自動車関連資金、教育関連資金、住宅･リフォーム関連資金にご利用いただけます。 *プレミアムサポートサービスご契約企業の従業員の皆さまを対象とした商品です。
フリーローンきゃっする	お使い道自由で便利なフリーローンです。
しんきんフリーローン	
リバースモーゲージローン	シニア層のセカンドライフの充実や老後の生活に必要な資金にご利用いただけます。

※詳しい商品内容は、店頭の「当金庫の商品のご案内」･「パンフレット」をご覧ください。
※お申込に際しましては、当金庫所定の審査がございます。審査の結果、ご希望に沿えない場合がございます。
※ご利用にあたっては、ご本人の収入等から無理なくご返済できるよう計画的に行ってください。
　特に、変動金利ローンは、定期的に利率を見直しますが、金融情勢により当初借入利率よりも高くなることがございますのでご注意ください。

主な法人･事業者向けローン

主な商品･制度名	内容・特色
保証協会保証付貸出	保証協会保証付の各種制度融資がご利用いただけます。
ちゅうしん生産性向上サポート資金	生産性向上を目的とした「運転資金」「設備資金」にご利用いただけます。 ※当金庫が事業計画の策定をお手伝いします。
元気くんⅡ	担保･第三者保証人･保証料･事務取扱手数料不要の法人専用のローンです。 「経営改善計画書」ご提出の場合、ご融資利率を優遇します。
元気くんG(グリーン)	生物多様性や環境保全に取組む企業のための法人専用エコ･ビジネスローンです。
元気くんアシスト	個人事業主の方専用のビジネスローンです。
元気くんチャレンジ	法人･個人事業主の方を対象としたビジネスローンです。
ビジネスカードローン	事業に必要な資金をスピーディーに繰り返しご利用いただける便利なカードローンです。
ビジネスリンケージ	日本政策金融公庫との協調融資商品です。「ソーシャルビジネス」「事業承継」資金が対象です。

※詳しい商品内容は、店頭の「当金庫の商品のご案内」･「パンフレット」をご覧ください。お申込に際しましては、当金庫所定の審査がございます。審査の結果、ご希望に沿えない場合がございます。
　他にも各種融資商品を取り揃えています。信金中央金庫･株式会社日本政策金融公庫などの代理貸付のお取扱いもしています。
※特に、変動金利ローンは、定期的に利率を見直しますが、金融情勢により当初借入利率よりも高くなることがございますのでご注意ください。

営業のご案内

そなえる

保険商品の窓口販売

保険種類		商品名	引受保険会社
生命保険商品	個人年金保険	しんきんらいふ年金FS(一時払型)	フコクしんらい生命保険株式会社
		しんきんらいふ年金FS(定額:積立型)	
	終身保険(一時払型)	しんきんらいふ終身FS(無告知型)	フコクしんらい生命保険株式会社
		しんきんらいふ終身S	住友生命保険相互会社
	終身保険(平準払型)	一生のお守り	SOMPOひまわり生命保険株式会社
	定期保険	ハローキティの定期保険	フコクしんらい生命保険株式会社
	医療保険	ハローキティの医療保険	フコクしんらい生命保険株式会社
		メディカルKitR	東京海上日動あんしん生命保険株式会社
		新·健康のお守りハート	SOMPOひまわり生命保険株式会社
	がん保険	がん診断保険R	東京海上日動あんしん生命保険株式会社
損害保険商品	個人用火災総合保険(住宅ローン関係の長期火災保険)	しんきんグッドすまいる ※当金庫の住宅ローンをご利用のお客さま向け商品です。	(幹事)損害保険ジャパン株式会社 (引受)共栄火災海上保険株式会社 (引受)東京海上日動火災保険株式会社 (引受)三井住友海上火災保険株式会社
	債務返済支援保険	しんきんグッドサポート ※当金庫の住宅ローンをご利用のお客さま向け商品です。	(幹事)共栄火災海上保険株式会社 (引受)損害保険ジャパン株式会社
	海外旅行保険	しんきんグッドパスポート	共栄火災海上保険株式会社
	傷害保険	標準傷害保険	共栄火災海上保険株式会社
	業務災害補償保険	ビジネスプラン	共栄火災海上保険株式会社
	企業総合補償保険	しんきんお店と事務所のほけん	損害保険ジャパン株式会社
	個人用火災総合保険	しんきんオーナーの火災ほけん	損害保険ジャパン株式会社

公共債の窓口販売

商品名		内容·特色
個人向け国債	【変動金利タイプ】10年	半年ごとに、適用利率(クーポン)が変わる「変動金利型」の国債です。
	【固定金利タイプ】5年·3年	発行時の利率(クーポン)が満期まで変わらない「固定金利型」の国債です。

確定拠出年金

種類	受付·運営
401k個人型年金プラン	受付金融機関:当金庫、運営管理機関:東京海上日動火災保険株式会社
しんきんiDeCo(共通:中日信用金庫コース)	受付金融機関:当金庫、運営管理機関:信金中央金庫

信託契約代理業務

商品名	内容·特色
しんきん暦年信託 こころのリボン	毎年、贈与を受ける方と贈与金額を指定できる生前贈与をサポートする商品です。
しんきん相続信託 こころのバトン	家族に残す金額および受取方法を指定でき、また生前は自分自身の生活資金の定期受取もできる商品です。

サービスのご案内

主なサービス

サービスの種類	内容・特色
入出金･振込･振替･代金支払い･残高照会等に関するサービス	
キャッシュサービス	当金庫のキャッシュコーナーでは、お預け入れ･お引き出しのほか、お振り込みや残高照会、通帳記入などがご利用いただけます。また、全国の信用金庫、ゆうちょ銀行および提携金融機関のキャッシュコーナーでもお引き出しや残高照会がご利用いただけます。
デビットカードサービス	お客さまの当金庫キャッシュカードで買い物ができ、代金が即座に決済されるサービスです。(J-Debit)
自動振込サービス	毎月一定日に、お客さまの口座からご指定の金額を自動的にお振り込みします。
ATM振込サービス	ATMから振込がご利用いただけます。
ペイジー口座振替受付サービス	保険やクレジットカードの口座振替手続きがキャッシュカードと暗証入力により完了できるサービスです。
自動受取り	お客さまの大切な年金、給与、株式配当金等もご指定口座で自動受取りできます。
自動支払い	公共料金、保険料、授業料、各種クレジット代金等をお客さまの口座から自動的にお支払いします。
インターネットを活用したサービス	
個人インターネットバンキング	パソコン、スマートフォン等から、残高照会、入出金明細照会、定期預金契約、振込、振替等がご利用いただけるサービスです。
法人インターネットバンキング	パソコンから総合振込、給与･賞与振込、都度振込等がご利用いただけるサービスです。
ネット口座振替受付サービス	提携企業の口座振替申込ウェブサイトから口座振替手続きができるサービスです。
ホームバンキングサービス	パソコンで取引照会や振込･振替がご利用いただけるサービスです。
ちゅうしんでんさいサービス	法人･個人事業主のお客さまが、パソコンで電子記録債権の発生や受取などをご利用いただけるサービスです。
しんきんバンキングアプリサービス	キャッシュカードをお持ちのお客さま(個人)や個人インターネットバンキングをご契約のお客さまがスマートフォンアプリで口座残高や入出金明細を確認いただけるサービスです。
その他のサービス	
年金相談	年金についてのさまざまなご相談に、ちゅうしんの契約社会保険労務士などが、わかりやすくおこたえします。
貸金庫	預金証書、有価証券、貴金属等の大切な財産、貴重品を金庫室で厳重に保管いたします。
スポーツくじ当せん金の払戻し	スポーツくじの当せん金の払戻しを行っております。
プレミアムサポートサービス	ご契約企業の従業員の皆さまが預金やローンの金利優遇などの特典をご利用いただけるサービスです。

※一部、お取扱いしていない店舗がございます。

営業のご案内

主な手数料

（2026年7月1日現在）

為替関係手数料（1回・1通・1件につき）

振込手数料	窓口ご利用の場合		窓口振込	FD・USBメモリ等電子記録媒体
	当金庫の同一店内あて	3万円未満	330円	無　料
		3万円以上	550円	
	当金庫の本支店あて	3万円未満	330円	110円
		3万円以上	550円	
	他の金融機関あて	3万円未満	660円	440円
		3万円以上	880円	
	ATMご利用の場合 視覚障がい者の窓口振込手数料		カード 当金庫	カード 提携金融機関	現金
	当金庫の同一店内あて	3万円未満	無料	110円	110円
		3万円以上		220円	220円
	当金庫の本支店あて	3万円未満	無料	110円	110円
		3万円以上		220円	220円
	他の金融機関あて	3万円未満	330円		440円
		3万円以上	550円		660円
	ファーム・ホームバンキング・自動振込の場合			
	当金庫の同一店内あて		無　料	
	当金庫の本支店あて		無　料	
	他の金融機関あて	1万円未満	275円	
		1万円以上3万円未満	385円	
		3万円以上	550円	
	インターネットバンキングの場合		個人	法人
	当金庫の同一店内あて		無　料	無　料
	当金庫の本支店あて		無　料	無　料
	他の金融機関あて	3万円未満	220円	275円
		3万円以上	440円	440円
	給与振込の場合		窓口振込	FD・USBメモリ等電子記録媒体	法人インターネットバンキング
	当金庫の同一店内あて		無料	無料	無料
	当金庫の本支店あて		330円	110円	無料
	他の金融機関あて	3万円未満	770円	440円	110円
		3万円以上			165円
代金取立手数料	電子交換所	同一店内・本支店あて	無　料		
		他行庫あて	880円		
	個別取立		1,100円		
特殊手数料	送金・振込組戻料		1,100円		
	取立手形組戻料		1,100円		
	不渡手形返却料		1,100円		
	取立手形店頭呈示料		1,100円		

※ただし、費用が1,100円を超える場合は、実費相当額をいただきます。

各種手数料等（1冊・1回・1枚・1通・1件につき）

発行手数料	各種証明書		550～11,000円
再発行手数料	通帳・証書等	現物あり	550円
		現物なし	1,100円
	磁気・ICキャッシュカード		1,100円
貸金庫利用料	手動式	A型（月間　990円）年間11,880円	
		B型（月間1,320円）年間15,840円	
		C型（月間1,540円）年間18,480円	
		D型（月間1,980円）年間23,760円	
	全自動式	Ⅰ型（月間1,320円）年間15,840円	
		Ⅱ型（月間1,760円）年間21,120円	
		Ⅲ型（月間2,200円）年間26,400円	
	代理人ICカード発行1枚1,650円		

各種手数料等（1冊・1回・1枚・1通・1件につき）

ATM利用料	当金庫カードの場合		
	平日・土曜日・日曜日・祝日		無　料
	※共同ATMをご利用の場合、利用料が必要となる場合があります。		
	提携金融機関の場合	【しんきんネット】	【MICSゆうちょ】
	平日 8:00～8:45	110円	220円
	平日 8:45～18:00	無　料	110円
	平日 18:00～21:00	110円	220円
	土曜日 8:00～9:00	110円	220円
	土曜日 9:00～14:00	無　料	110円
	土曜日 14:00～21:00	110円	220円
	日曜日・祝日 8:00～21:00	110円	220円
	※店外ATMのご利用日・ご利用時間は上記と異なる場合があります。		
円貨両替手数料	1枚～50枚	当金庫に口座をお持ちのお客さま※	無　料
		上記以外のお客さま	330円
	51枚～500枚		550円
	501枚～1,000枚		1,100円
	1,001枚以上		500枚毎に550円加算
	●多量の紙幣・硬貨による預金口座への入金、振込、実質的な両替と判断される出金も対象とします。 ※窓口でキャッシュカードまたは通帳の提示が必要です。なお、当金庫に口座をお持ちでない方で、障がいをお持ちの方は、50枚まで無料です。ただし、窓口で障がい者手帳の提示が必要です。		
ホームバンキング・ファーム利用料	ファクシミリ		無　料
	VALUX		月間　1,000円
インターネットバンキング利用料	個人インターネットバンキング		無　料
	法人インターネットバンキング	照会・資金移動	月間　1,100円
		給与・総合振込	月間　2,200円
自動振込取扱手数料			55円
地方税等取次手数料（当金庫が取扱金融機関に指定されていない場合）			3万円未満　660円 3万円以上　880円
個人情報開示手数料			【店頭受取】 / 【郵送（簡易書留郵便）】
	氏名・住所・電話番号・生年月日（一括開示）		550円 / 880円
	取引残高（科目・口座番号・残高）（特定日の取引残高）		550円 / 880円
	取引口座の履歴（1口座・1カ月分・暦月ベース） ※ただし、合算記帳の対象となる取引口座の履歴については無料です。 （注）合算記帳とは、通帳に未記帳の取引明細が一定件数を超えた場合に、入出金それぞれの合計額が、まとめて記帳されることです。		1,100円 / 1,430円
上記以外の情報（1項目につき）			550円 / 880円

融資関係手数料（1回・1通・1件につき）

不動産担保事務取扱手数料	新規担保設定（設定額）		
		3,000万円未満	33,000円
		3,000万円以上5,000万円未満	44,000円
		5,000万円以上	55,000円
	追加担保設定・極度額変更		33,000円
固定金利選択手数料（新規契約時不要）			5,500円
融資用約束手形用紙代			550円
債務保証書発行手数料			550円
条件変更　※ただし、当金庫からの提案によるものは除きます。			
	返済口座変更、ボーナス月・返済日の変更		5,500円
	返済元金据置、返済額変更、金利変更		11,000円
	上記以外		5,500円
繰上返済取扱手数料	住宅ローンの繰上返済		
	固定金利 / 変動金利	一部繰上返済 / 全額繰上返済	11,000円
	固定金利 / 選択期間内	一部繰上返済	22,000円
		全額繰上返済	33,000円
	事業性融資繰上返済（除 賃貸住宅向け融資）		
	固定金利 / 変動金利	一部繰上返済	11,000円
		全額繰上返済※	22,000円
	固定金利 / 選択期間内	一部繰上返済	11,000円
		全額繰上返済※	22,000円
	※除、当金庫又は当金庫で申込の信用保証協会付融資のうち完済条件付融資の場合		
	不動産賃貸向け融資繰上返済		
	固定金利 / 変動金利	一部繰上返済	33,000円
		全額繰上返済	44,000円
	固定金利 / 選択期間内	一部繰上返済	33,000円
		全額繰上返済	44,000円

※利息制限法の「みなし利息」に該当するものについては、利息制限法の上限利率の範囲内でお支払いいただきます。
※手数料には消費税を含みます。

ちゅうしん店舗ネットワーク

ちゅうしん 営業地区（2026年6月末現在）

名古屋市、清須市、北名古屋市、あま市、小牧市、尾張旭市、稲沢市
春日井市、岩倉市、一宮市、津島市、瀬戸市、長久手市、日進市、東海市
江南市、弥富市、愛西市、犬山市、知多市、常滑市、西春日井郡豊山町
海部郡蟹江町・大治町・飛島村、丹羽郡大口町・扶桑町、知多郡武豊町

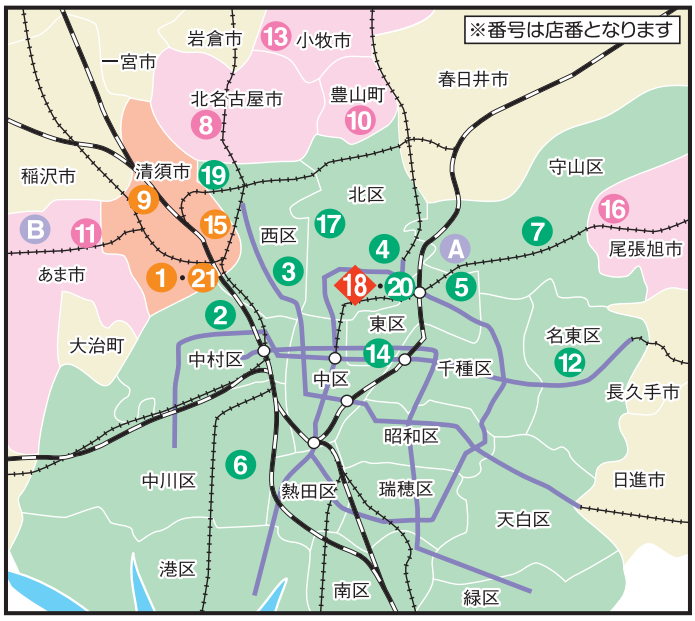
ちゅうしんでは、
ご存知ですか？
従来から“ATM利用手数料「無料（0円）」”を続けています。

ちゅうしんのATMはいつでも **入出金手数料=0円**
ちゅうしんのキャッシュカードなら平日はもちろん、土曜・日曜・祝日いつでも入出金手数料は無料です。
（当金庫のキャッシュカードを当金庫のATMで利用した場合です）

全国のしんきんATMも **入出金手数料=0円**（しんきんゼロネットサービス）
ちゅうしんのキャッシュカードは、全国どこのしんきんATMも平日・土曜の手数料は無料です。
（一部のしんきんATMでは、土曜有料のところがあります）（※）
無料時間帯　平日／8:45～18:00（入出金）、土曜／9:00～14:00（出金）

※しんきんゼロネットサービスは無料時間帯以外および日曜・祝日のATM利用には所定の手数料が必要です。また、本サービスを利用できないATMもあります。

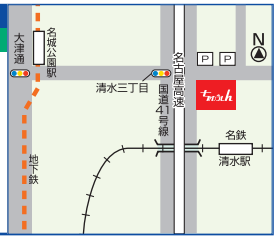
ちゅうしん 店舗配置図



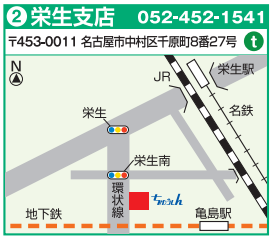
ちゅうしん 店舗一覧（2026年6月末現在）

t toto当選金払戻業務取扱店
貸 貸金庫設置店
※全店舗で窓口昼休業（11:30～12:30）を実施しております。

⑱ 本店・本部 / ⑳ 柳原支店（本店内）
052-913-9111（本店）
052-912-5100（柳原支店）
052-913-8111（本部）
〒462-0844
名古屋市北区清水二丁目9番5号



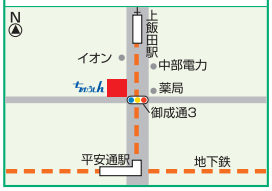
② 栄生支店　052-452-1541
〒453-0011 名古屋市中村区千原町8番27号 t 貸



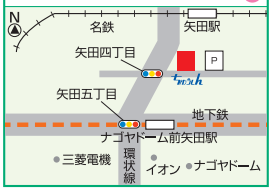
③ 浄心支店　052-521-2331
〒451-0025 名古屋市西区上名古屋二丁目1番1号 貸



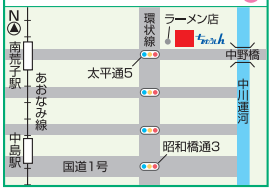
④ 上飯田支店　052-911-5401
〒462-0807 名古屋市北区御成通3丁目9番地4



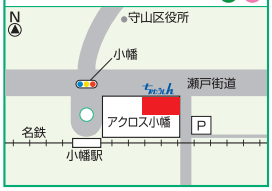
⑤ 矢田支店　052-721-2331
〒461-0043 名古屋市東区大幸一丁目5番24号 貸



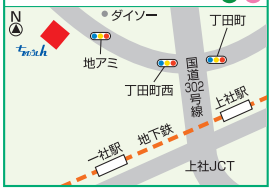
⑥ 中川支店　052-361-2161
〒454-0835 名古屋市中川区八家町1丁目38番地 貸



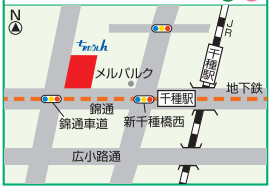
⑦ 守山支店　052-791-4556
〒463-0048 名古屋市守山区小幡南一丁目24番11号 t 貸



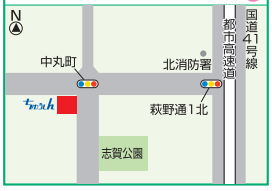
⑫ 名東支店　052-774-6211
〒465-0091 名古屋市名東区よもぎ台二丁目604番地 t 貸



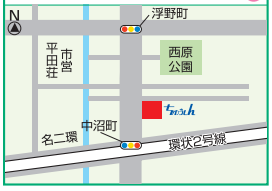
⑭ 名古屋支店　052-937-5551
〒461-0004 名古屋市東区葵三丁目18番24号 t 貸



⑰ 光城支店　052-912-3300
〒462-0056 名古屋市北区中丸町2丁目33番地19 貸



⑲ 平田支店　052-504-7211
〒452-0844 名古屋市西区上橋町46番地 貸



① 新川支店 / ㉑ 須ヶ口支店（新川支店内）
052-400-8111（新川支店） 貸
052-409-3455（須ヶ口支店）
〒452-0914
清須市土器野北中野314番地の1



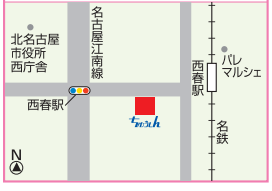
⑨ 清洲支店　052-400-0561
〒452-0942 清須市清洲一丁目24番地の7



⑮ 西枇杷島支店　052-503-7511
〒452-0004 清須市西枇杷島町大黒9番地 貸



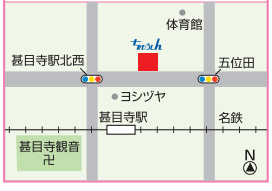
⑧ 西春支店　0568-21-1331
〒481-0040 北名古屋市西春駅前一丁目36番地 t 貸



⑩ 名古屋空港前支店　0568-28-0193
〒480-0202 西春日井郡豊山町大字豊場字高前175番地 t 貸



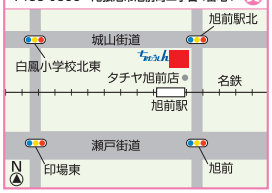
⑪ 甚目寺支店　052-441-2121
〒490-1111 あま市甚目寺五位田99番地



⑬ 藤島支店　0568-73-2611
〒485-0069 小牧市藤島町梵天15番地



⑯ 尾張旭支店　0561-54-6111
〒488-0855 尾張旭市旭前町二丁目4番地1 貸



ATM設置場所・ご利用時間

設置場所	平日	土・日・祝日
中日信用金庫の本支店ATM	8:00～21:00	8:00～21:00
店舗外ATM Ⓐもりやま総合心療病院ATM	9:00～17:30	―
店舗外ATM Ⓑロビン・フッド甚目寺店ATM	8:30～20:00	9:00～17:00

設置場所	平日	土・日・祝日
しんきん共同ATM JRセントラルタワーズ・桜通口キャッシュコーナー・スカイシャトルキャッシュコーナー	7:00～21:00	土 7:00～21:00 / 日・祝日 8:00～21:00
しんきん共同ATM 中部国際空港セントレア・アクセスプラザ	8:00～21:00	

※年末年始等、一部上記と異なる場合がございます。詳しくは当金庫ホームページをご覧ください。

通帳等の紛失・盗難等のお問合せ

・当金庫の営業時間内の場合は、お取引店へご連絡ください。
・営業時間外、土・日・祝日は、下記までご連絡ください。
〈信金監視センター〉
0120-151-678
または
052-203-8299

中日信用金庫公式Instagram

ちゅうしんの取組みや新商品のご案内など
さまざまな情報を発信しています!
皆さまからの「フォロー」や「いいね!」を
心よりお待ちしております。

【アカウント名】中日信用金庫(@chushin1565)
【URL】https://www.instagram.com/chushin1565/

ディスクロージャー誌のご案内

ディスクロージャー誌の閲覧を希望されるお客さまは、以下のウェブサイトからご覧ください。
なお、インターネットの操作がわからないお客さま、またはインターネットに接続できる電子機器(パソコン、スマートフォン等)をお持ちでないお客さまは、職員までお申し出ください。

●当金庫のウェブサイト(ディスクロージャー誌掲載ページ)
https://www.shinkin.co.jp/chunichi/about/disclose/disclose_index.html
※なお、スマートフォン等からもアクセスできます。

2026年7月発行

中日信用金庫　経営企画部
〒462-0844 名古屋市北区清水二丁目9番5号
☎(052)913-7003

VEGETABLE OIL INK